

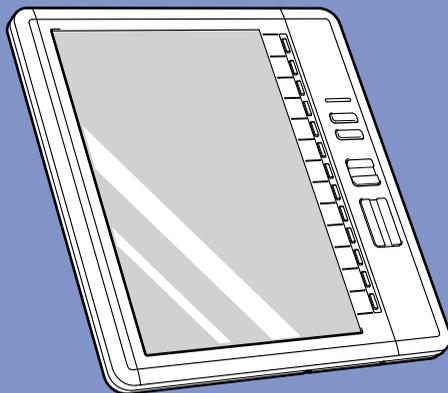
SV-Manager

ユーザーズガイド(PCソフト編)

BROTHER DOCUMENT VIEWER

SV-70

SV-100B



起動と終了

接続とメモリ管理

セキュリティ設定

コンテンツとフォルダ操作

こんなときには

付録

やりたいことがすぐ探せる！
やりたいこと目次 4ページへ

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき
故障かな？と思ったときなどは
以下の手順で原因をお調べください。

1 「こんなときには」で調べる **53ページ**

2

サポート ブラザー

ブラザーのサポートサイト
にアクセスして、最新の情報を調べる
<http://solutions.brother.co.jp/>

オンラインユーザー登録

▶ <https://myportal.brother.co.jp/>

- ご使用になる前に、必ず本書をお読みください。
- 本書はお読みになったあとも大切に保管し、いつでも手にとって見ることができるようになしてください。

はじめに

このたびは BROTHER DOCUMENT VIEWER SV-70/100B をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

SV-Manager は、SV-70/100B (以降本機と表記します) のコンテンツ管理用の Windows アプリケーションソフトです。(対応 OS: Windows XP 日本語版、Windows XP Professional x64 Edition 日本語版、Windows Vista 32bit/64bit 日本語版、Windows 7 32bit/64bit 日本語版)

ご使用になる前に必ず本書をお読みの上、正しくお使いください。本書はお読みになったあとも大切に保管し、手にとって見られるようにしてください。

本書では、Windows でのアプリケーションソフトのインストールや一般的な操作ができる方を想定して説明しています。

Windows の一般的な操作については、市販の書籍等をご参照ください。

- 本書の内容は予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製、転載することは禁じられています。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 本機の故障、誤動作、不具合、あるいは外部要因によって生じた経済的損害等（データの消失、事業利益の損失、遺失利益、事業の中断による損失等）につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

商標について

本文中では、OS 名称を略記しています。

Windows® XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system です。

Windows® Vista の正式名称は、Microsoft® Windows Vista® operating system です。

Windows® 7 の正式名称は、Microsoft® Windows® 7 operating system です。

- Microsoft®, Windows®, Excel, Word, Power Point®, Windows Mobile® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Acrobat®, Adobe は、米国 Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標または商標です。
- microSD™ および microSDHC™ は、SD アソシエーションの商標です。
- プラザ製品および関連資料等に記載されている社名及び商品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

取扱説明書の表記について

■ 記号

< >	キー名称を示します。
「 」	画面の表示パネルに表示される項目を示します。
[]	選択項目を示します。
	<p>次のような連続した操作の場合には、「[編集] → [しるし] → [しるしの削除]」と記載します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 メニューから [編集] をクリックします。 2 [しるし] をポイントまたはクリックします。 3 [しるしの削除] をクリックします。 <ul style="list-style-type: none"> • カーソルを目的の項目に合わせるポイント操作の場合も、クリック操作と同じ結果となる場合には上記のような省略表記で、[(選択項目名)] のみで表記し、ポイントまたはクリックの操作を記載しません。ただし、クリック操作とポイント操作で異なる結果となる場合には、クリックまたはポイント操作を明記します。
【 】	画面名、ダイアログ名を示します。
 メモ	知っておくと便利な情報や、制限事項を記載しています。
 注意	お客様のデータが消去される操作や、重要な事項を記載しています。

■ 表記

- 左クリックは、クリックと表記します。
- 右クリックは、右クリックと表記します。

本書で使用されているイラストについて

- 本書では本機やメニューの説明に、SV-100B のイラストを使用しています。

やりたいこと目次

SV-Manager は、本機のコンテンツを管理する Windows アプリケーションソフトです。

SV-Manager では、Word や Excel、PDF などのコンテンツの元ファイルの本機で閲覧できるように変換し、本機専用ファイルを作成します。作成した本機専用ファイルは、本機または SV-Manager のライブラリ（PC のハードディスクの特定フォルダ）に登録し、管理できます。

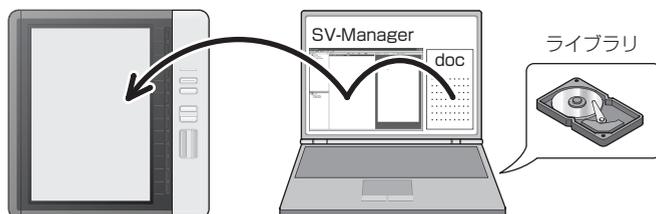
ここでは、SV-Manager の代表的な機能を簡単なイラストで説明し、該当ページをご案内しています。



本機専用ファイルは、SV-Manager でのみ管理できます。

■ 本機専用ファイルを本機に直接作成したい

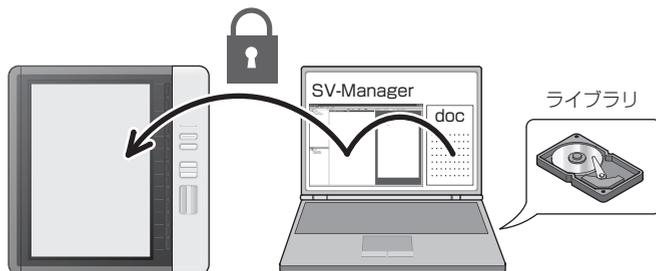
アプリケーションソフトからの印刷や、コンテンツの元ファイルのドラッグアンドドロップで、本機専用ファイルの本機に直接作成できます。



➡ 「本機専用ファイルを作成する」 (👉 P. 27)

■ セキュリティを高めた管理をしたい

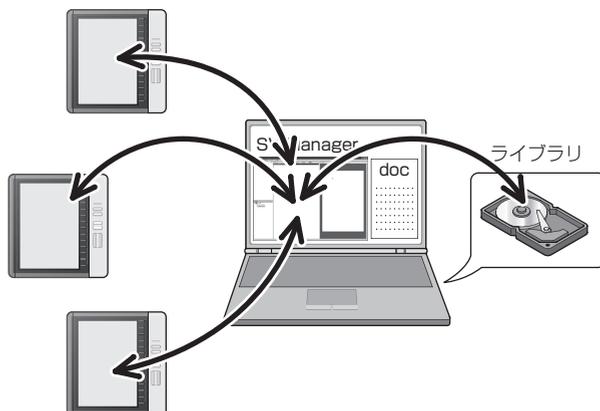
本機専用ファイルは、セキュリティフォルダを使用してパスワードで暗号化できます。



➡ 「本機のセキュリティ設定」 (👉 P. 22)

■本機専用ファイルをバックアップしたり入れ替えたい

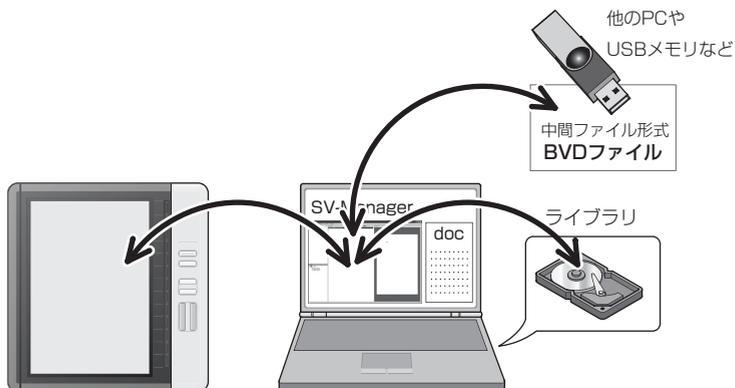
SV-Manager のライブラリに本機専用ファイルを登録しておく、必要なときに本機へコピーして閲覧できます。複数の本機を利用する場合に便利です。



➡「フォルダ／ファイルを管理する」(👉 P. 43)

■本機専用ファイルをほかの PC に移したい

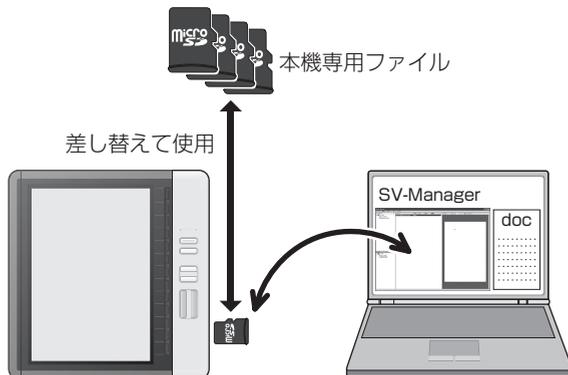
本機専用ファイルは SV-Manager だけで管理できますが、バックアップなどのためにほかの PC に移したいときがあります。BVD エクスポート機能を使用すると、Windows のファイル操作でコピーや移動ができるファイル形式に書き出せます。書き出したファイルは、BVD インポートで SV-Manager に戻せます。



➡「本機専用ファイルを中間ファイル形式で管理する」(👉 P. 50)

■大量のコンテンツを持ち歩きたい

複数の microSD メモリカード (以降メモリカードと表記します) に本機専用ファイルを登録しておく、大量のコンテンツを携帯できます。



➔ 「メモリカードで複数の本機を管理する」 (☞ P. 20)



メモ

本機で使用可能なメモリカードは、microSD メモリカードと microSDHC メモリカードです。(SDHC のスピードクラスには対応していません。) microSDHC メモリカードのご使用は、弊社にて動作確認したものを推奨します。詳しくは、プラザーソリューションセンターをご確認ください。



注意

データの読み出し中や書き込み中は、無理にメモリカードを取り外さないでください。データが破壊されることがあります。

目次

はじめに	2
商標について	2
取扱説明書の表記について	3
本書で使用されているイラストについて	3
やりたいこと目次	4
目次	7
1 章 SV-Manager の起動と終了	10
SV-Manager を起動する／終了する	11
SV-Manager を起動する	11
SV-Manager を終了するには	11
SV-Manager の画面構成について	12
階層表示エリアについて	13
ファイル詳細表示エリアについて	14
プレビュー表示エリアについて	16
2 章 PC への本機の接続とメモリ管理	17
本機を PC に接続する／取り外す	18
本機を PC に接続する	18
本機を PC から取り外す	18
メモリを初期化する	19
メモリ容量の残量を確認する	21
3 章 本機のセキュリティ設定	22
セキュリティフォルダにパスワードを設定する	23
セキュリティフォルダを開く／閉じる	24
セキュリティフォルダを開く	24
セキュリティフォルダのパスワードを変更する	25

4 章	コンテンツとフォルダ操作	26
	本機専用ファイルを作成する	27
	アプリケーションソフトの印刷画面から作成する.....	28
	ドラッグアンドドロップで作成する.....	29
	SV-Manager の【データの登録】画面から作成する.....	31
	プリンタードライバーの印刷設定を変更するには.....	32
	コンテンツを表示する／ページを回転する	40
	ページを表示して確認する.....	40
	ページを削除する.....	41
	ページを 180 度回転して保存する.....	41
	拡大表示用ページの向きを変更する.....	42
	フォルダ／ファイルを管理する	43
	フォルダを作成する.....	43
	ファイル名／フォルダ名を変更する.....	43
	ファイル／フォルダを移動する.....	43
	ファイル／フォルダをコピーする.....	45
	ファイル／フォルダを削除する.....	46
	しるしを管理する	47
	しるしを付ける.....	47
	しるしを削除する.....	47
	しるしを利用する.....	48
	評価情報を管理する	49
	評価情報を変更する.....	49
	本機専用ファイルを中間ファイル形式で管理する	50
	中間ファイル形式でデータを書き出す.....	50
	中間ファイル形式のデータを読み込む.....	51
	内蔵フラッシュメモリのデータをメモリカードへ移動するには (SV-70 のみ) ...	52

5 章	こんなときには	53
	SV-Manager の操作環境を変更するには.....	54
	全般について設定する	54
	ダイアログについて設定する.....	54
	ライブラリについて設定する.....	55
	暗証番号無効状態になったときは.....	56
	破損ファイルを復旧するには.....	57
	ブラザーソリューションセンターを開くには	58
	SV-Manager をバージョンアップするには	59
	SV-Manager のバージョン情報を確認する.....	59
	プリンタードライバーのバージョン情報を確認する	59
	バージョンアップする	59
	SV-Manager をアンインストールするには	60
	こんなメッセージが表示されたら.....	61
	おかしいなと思ったときは	63
6 章	付録	65
	用語集	66
	索引.....	69

1 章

SV-Manager の起動と終了

SV-Manager の動作環境とインストールについては、クイックスタートガイドをご参照ください。

SV-Manager を起動する / 終了する	11
SV-Manager を起動する	11
SV-Manager を終了するには	11
SV-Manager の画面構成について	12
各エリアのサイズを変更するには	12
画面の表示形式について	13
階層表示エリアについて	13
本機接続状態による画面表示の違いについて	14
ファイル詳細表示エリアについて	14
項目の表示幅を変更するには	15
項目の並び順を入れ替えるには	15
項目を非表示にするには	15
プレビュー表示エリアについて	16

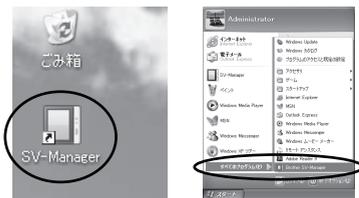


SV-Manager を起動する / 終了する

SV-Manager を起動する

1 SV-Manager のショートカットアイコンをダブルクリックします。

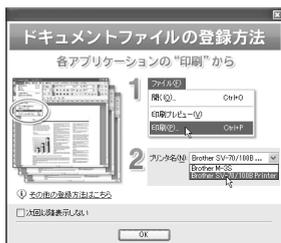
- Windows のスタートメニューから [すべてのプログラム] → [Brother SV-Manager] でも起動できます。



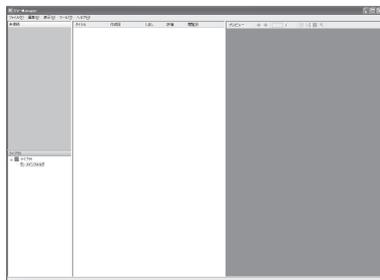
➔SV-Manager が起動し、【SV-Manager】画面と【ドキュメントファイルの登録方法】ダイアログが同時に表示されます。

2 【ドキュメントファイルの登録方法】ダイアログの内容を確認して【OK】をクリックします。

- 【ドキュメントファイルの登録方法】ダイアログを次回以降に表示しないときは [次回以降表示しない] をチェックして【OK】をクリックします。表示の有無は、「SV-Manager の操作環境を変更するには」(P. 54) で変更できます。



➔SV-Manager を操作できる状態になります。



SV-Manager を終了するには

1 タイトルバーの [X] をクリックします。

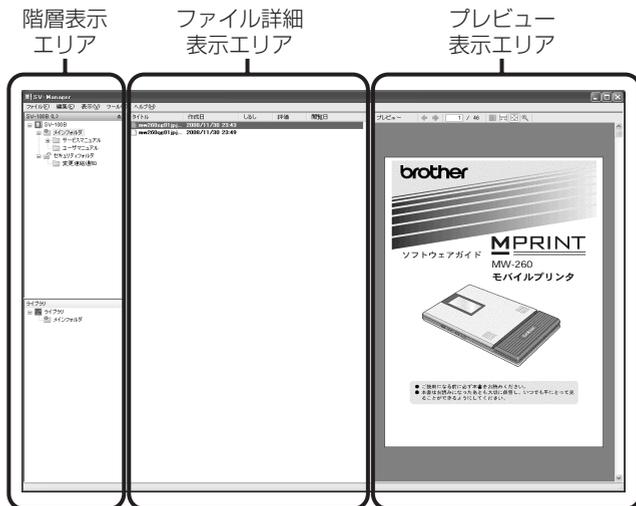
- メニューから [ファイル] → [終了] でも操作できます。

➔SV-Manager が終了し、【SV-Manager】画面が閉じます。

SV-Manager の画面構成について

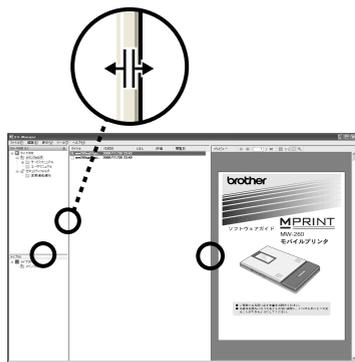
【SV-Manager】画面は、3つのエリアに分かれています。

階層表示エリア	• フォルダ構成を階層表示します。
ファイル詳細表示エリア	• 階層表示エリアで選択したフォルダの本機専用ファイルを一覧表示します。サブフォルダは表示されません。
プレビュー表示エリア	• ファイル詳細表示エリアで選択した本機専用ファイルのコンテンツを表示します。



■ 各エリアのサイズを変更するには

- 1 境界位置をポイントすると、マウスカーソルが  が  に変わるので、ドラッグします。



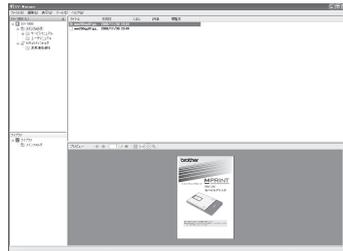
画面の表示形式について

画面表示には、縦割り型と横割り型の 2 種類があります。表示方法は、「SV-Manager の操作環境を変更するには」(P. 54) で変更できます。

縦割り型

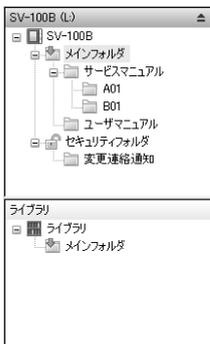


横割り型



階層表示エリアについて

本機とライブラリのフォルダを階層表示します。本機は上段に、ライブラリは下段に表示されます。選択中の本機またはライブラリは、タイトルバーが濃い灰色で表示されます。



□ : 本機トップフォルダ

- 初期化で設定されたメモリの最上位のフォルダです。

📁 : メインフォルダ

- 初期化で設定された一般のフォルダです。暗号化はされません。

🔒 : セキュリティフォルダ

(開いているときは🔓)

- 初期化で設定された特別なフォルダです。パスワードにより本機専用ファイルを暗号化して保護できます。本機 1 台に 1 つだけ作成されます。

📁 : フォルダ

- ユーザが任意に作成できるフォルダです。



メモ

SV-Manager ではトップフォルダ、メインフォルダ、セキュリティフォルダにあるいずれのフォルダも同じアイコンで表示されますが、本機で閲覧すると、セキュリティフォルダにあるフォルダはセキュリティマークの付いた🔒アイコンで表示されます。

📁 : ライブラリ

- SV-Manager をインストールすると、PC に作成されるフォルダです。ライブラリにはセキュリティフォルダは設定できません。
- PC での保存先は「SV-Manager の操作環境を変更するには」(P. 54) で変更できます。

🔌 : 取り外し

- 本機を取り外すときにクリックします。Windows の「ハードウェアの安全な取り外し」と同じ機能です。



メモ

本機トップフォルダ名「SV-100B」、 「SV-70」または「SV-70 (内蔵フラッシュメモリ)」、メインフォルダ名、セキュリティフォルダ名、フォルダ名は、右クリックのメニューから任意に変更できます。

本機接続状態による画面表示の違いについて

SV-Manager では、同時に 2 台までの本機を管理できます。
 2 台接続した場合は、階層表示エリアに 2 台の本機が表示されます。
 PC に先に接続した本機が上に、後から接続した本機はライブラリと 1 台目の間に表示されます。
 本機を 3 台以上接続した場合には、3 台目以降に接続した本機は表示されません。



ファイル詳細表示エリアについて

本機専用ファイルのリストが表示されます。
 本機で閲覧すると、このファイル詳細エリアの並び順で表示されます。
 各ファイルには [タイトル]、[作成日]、[しるし]、[評価]、[閲覧日] の 5 項目が表示されます。
 各項目のタイトル行をクリックすると、ファイルがその項目で昇順、降順にソートされます。

タイトル	作成日	しるし	評価	閲覧日
mw260ug01jpja.pdf	2008/12/23 06:02	(5)	★★★★★	
A01-サービスマニユア...	2008/12/23 03:22	(3)		
A02-サービスマニユア...	2008/12/23 05:05			

タイトル

- 本機専用ファイル名を表示します。
- 本機で閲覧済みのファイルは標準フォントで、未閲覧は太字フォントで表示されます。



コンテンツの元ファイルから本機専用ファイルを作成すると、作成元のコンテンツの元ファイルの拡張子まで含めた本機専用のファイル名になります。ファイル名は変更できます。

作成日

- コンテンツの元ファイルから本機専用ファイルを作成した年月日、時間を表示します。

しるし

- SV-Manager または本機でページに付けた「しるし」の数が表示されます。「しるし」がないときは空欄で表示されます。

評価

- SV-Manager または本機で付けた評価が★の個数で表示されます。「評価なし」のときは空欄で表示されます。

閲覧日

- 本機で本機専用ファイルを最後に閲覧した日が表示されます。

■ 項目の表示幅を変更するには

項目の表示幅を任意の幅、または一番長い文字列の幅に合うように変更できます。

- 1 各項目のタイトル右端をポイントし、 が  に変わったらドラッグまたはダブルクリックします。



- ➔ ドラッグしたときは、項目幅が任意の幅に変更されます。
- ➔ ダブルクリックしたときは、ファイル一覧リストの中で一番長い文字の幅に合わせて項目幅が変更されます。



- 非表示項目がある場合に境界線をドラッグまたはダブルクリックすると、非表示の項目が表示されます。
- 一覧リストのすべてのファイルに該当項目の内容がない場合、ダブルクリックすると最小幅に変更されます。
- SV-Manager を終了しても、変更結果は保存されます。

■ 項目の並び順を入れ替えるには

項目の並び順は変更できません。

- 1 移動したい項目のタイトルをドラッグし、目的の位置へドロップします。

- ➔ 項目の並び順が変更されます。



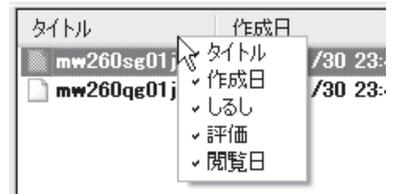
項目の並び順は、SV-Manager の終了時に保存されません。

■ 項目を非表示にするには

表示項目は非表示にできません。

- 1 タイトル行を右クリックします。
- 2 表示しない項目をクリックし、チェック「✓」を外します。

- 再表示するには、再度クリックしてチェック「✓」を付けるか、非表示項目の境界線をダブルクリックまたはドラッグします。



プレビュー表示エリアについて

本機専用ファイルのコンテンツページのプレビューが表示されます。



← : (前のページへ移動)

- 前のページへ移動します。

→ : (次のページへ移動)

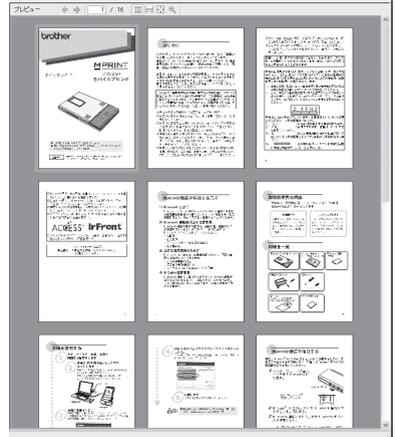
- 次のページへ移動します。

現在ページ番号／総ページ数

- 表示中(サムネイル表示のときは選択中)のページ番号とコンテンツの総ページ数を表示します。

☐☐☐ : (サムネイル)

- コンテンツページをサムネイルで表示します。
- 選択中のページは、青い枠が付いて表示されます。



☰☰ : (ウィンドウの幅に合わせる)

- コンテンツの1ページを、プレビュー表示エリアのウィンドウ幅に合わせて表示します。

☒☒ : (ページ全体)

- コンテンツの1ページ全体を、プレビュー表示エリアに合わせて表示します。

🔍 : (標準／拡大)

- 標準(全ページ)表示用画像と拡大表示用画像を切り替えます。
- 標準表示用画像または拡大表示用画像に作成したイメージデータの1ドットをPCのディスプレイの1ドットで実寸表示します。本機で表示したときの状態を確認できます。

PC への本機の接続とメモリ管理

本機の内蔵フラッシュメモリ（SV-70 のみ）またはメモリカードを装着した本機は、SV-Manager からは一般のメモリカードリーダライタに装着したメモリカードと同じリムーバブルディスクとして認識します。

メモリカードリーダライタのメモリカードをSV-Managerで初期化すると、本機専用ファイルの管理ができます。本機に装着すれば、そのままコンテンツを閲覧できます。

本機を PC に接続する / 取り外す	18
本機を PC に接続する	18
本機を PC から取り外す.....	18
メモリを初期化する	19
初期化するには.....	20
メモリカードで複数の本機を管理する	20
メモリ容量の残量を確認する	21
メモリの使用量を確認するには	21
メモリの詳細使用量を確認するには.....	21



本機を PC に接続する / 取り外す

本機に本機専用ファイルを登録するときや、USB 接続で充電するには、本機と PC を付属の USB ケーブルで接続します。

本機を PC に接続する

1 付属の USB ケーブルで本機と PC を接続します。

- 「SV-70/100B ユーザーズガイド(本体編)」をご参照ください。

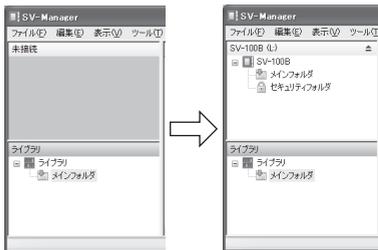


メモ

- USBハブ経由の接続は動作保証対象外です。PCのUSBポートに直接接続してください。
- 付属以外のUSBケーブルを使用する場合は、2m以下をご使用ください。

➔階層表示エリアの「未接続」が本機トップフォルダ名(初期設定名称は「SV-100B」、「SV-70」または「SV-70(内蔵フラッシュメモリ)」)に変わります。

- すでに1台の本機が接続されていた場合には、1台目の本機とライブラリの間には2台目が表示されます。



メモ

- SV-Managerで同時に管理できるのは、2台までの本機です。3台以上接続された場合には、3台目以降に接続した本機は表示されません。
- 接続した本機のメモリがSV-Managerで初期化されていないときは、本機として認識されず、階層表示エリアは更新されません。「メモリを初期化する」(P. 19)で初期化します。
- Windowsのエクスペローラ画面、自動再生画面が同時に表示されたときは、必要に応じて閉じます。

本機を PC から取り外す

PC から本機を安全に取り外すには、次の操作をします。



注意

データの読み出し中や書き込み中は、無理に本機を取り外さないください。データが破壊される可能性があります。必ず、ここで説明する取り外しの操作を行い、本機がSV-Managerの管理下から外れ、階層表示エリアから消えたことを確認してからUSBケーブルを取り外してください。

1 階層表示エリアの ▲ (取り外し) をクリックします。

- メニューの「ツール」→「取り外し」でも操作できます。

➔本機がSV-Managerの管理下から外され、階層表示エリアから消えます。

- PC から本機を安全に取り外せます。この操作は、Windowsでの「安全な取り外し」と同等の操作です。



メモ

- PCに3台以上の本機が接続されていた場合には、取り外した本機の表示が消え、3台目として接続していた本機が、階層表示エリアに表示されます。
- メモリカードに一般のWindowsファイルが保存してあり、そのファイルをほかのアプリケーションソフトで使用している場合は、取り外せません。



メモリを初期化する

本機で閲覧できる本機専用ファイルを管理するには、**SV-Manager での初期化または本機でのフォーマットが必要です**。初期化していないメモリカードまたは内蔵フラッシュメモリ (SV-70 のみ) には、本機専用ファイルを登録できません。同梱品の microSD メモリカード (SV-100B のみ) と出荷時の内蔵フラッシュメモリ (SV-70 のみ) は、初期化されています。

また、セキュリティフォルダが暗証番号無効状態になり、再度セキュリティフォルダを使用したいとき、あるいは本機での閲覧ができなくなったときには初期化が必要です。



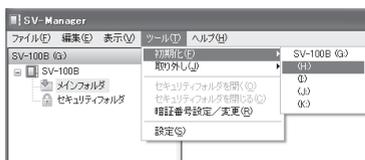
メモ

- SV-70 の場合には、本機にメモリカードが装着されているときはメモリカードが初期化され、メモリカードが装着されていないときは内蔵フラッシュメモリが初期化されます。
- SV-70 の内蔵フラッシュメモリに登録可能なページ数は、約 500 ページ (100MB) です。
- 初期化済みの本機を再度初期化するときは、メモリカードまたは内蔵フラッシュメモリ (SV-70 のみ) の本機専用ファイルをライブラリや中間ファイル形式でバックアップしてください。
- SV-Manager で初期化すると、本機専用ファイルはすべて削除され、新しい空のトップフォルダ、メインフォルダ、セキュリティフォルダが作成されます。本機、Windows でのフォーマットとは異なり、Windows の一般のフォルダ、ファイルは削除されません。
- Windows または SD 規格に対応していない他のソフトでフォーマットした場合には SD 規格非準拠になり、互換性などで問題が発生する場合があります。メモリカードまたは内蔵フラッシュメモリ (SV-70 のみ) をフォーマットするときは、本機でフォーマットしてください。本機で行うフォーマットでは、SD 規格準拠のフォーマットを行った後、SV-Manager の初期化と同じように新しいトップフォルダ、メインフォルダ、セキュリティフォルダが作成されます。
- エクスプローラの【フォルダオプション】ダイアログの [表示] タブで、「ファイルとフォルダの表示」を「すべてのファイルとフォルダを表示する」設定にしてある場合には、初期化後のルートディレクトリに BRVDOC フォルダが表示されます。本機専用ファイルは、BRVDOC フォルダに独自形式で保存されます。Windows でこのフォルダとファイルを操作すると、SV-Manager および本機で閲覧できなくなることがありますので、ご注意ください。

■ 初期化するには

1 メニューで【ツール】→【初期化】をクリックした後、初期化するドライブをクリックします。

- すでにSV-Managerで初期化済みのドライブにはトップフォルダ名称(初期設定名「SV-100B」、「SV-70」または「SV-70(内蔵フラッシュメモリ)」が表示されます。
- 複数のリムーバブルディスクを接続している場合など、目的のドライブが判別できないときは、エクスポラードドライブを確認します。



➡【初期化】ダイアログが表示されます。

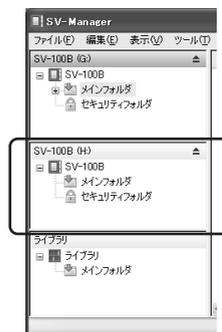
2 【はい】をクリックします。

- 中止するには、【いいえ】をクリックします。



➡【初期化中】ダイアログが表示された後、階層表示エリアに新しい本機が表示されます。

- トップフォルダ () にメインフォルダ () とセキュリティフォルダ () が作成されています。



メモ리카ードで複数の本機を管理する

SV-Managerで初期化すると、メモ리카ードリーダライタに装着したメモ리카ードも本機として管理ができます。本機が手元になくても本機専用ファイルをメモ리카ードに保存することができます。大量のコンテンツを携帯したい場合など、コンテンツの本機専用ファイルを複数のメモ리카ードに保存し、1台の本機でメモ리카ードを差し替えて閲覧できます。

本機で使用可能なメモ리카ードは、microSDメモ리카ードとmicroSDHCメモ리카ードです。(SDHCのスピードクラスには対応していません。)

microSDHCメモ리카ードのご使用は、弊社にて動作確認したものを推奨します。

詳しくは、ブラザーソリューションセンターをご確認ください。

メモリ容量の残量を確認する

メモリカードまたは内蔵フラッシュメモリ（SV-70 のみ）の使用量は 2 つの方法で確認できます。

■メモリの使用量を確認するには

1 階層表示エリアの本機のタイトルバーをポイントします。

- ➡メモリカードまたは内蔵フラッシュメモリ（SV-70 のみ）のメモリ使用量が数秒間表示されます。

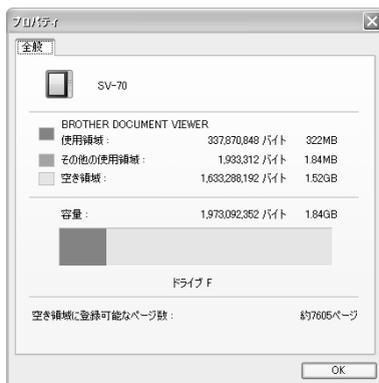


■メモリの詳細使用量を確認するには

1 本機のトップフォルダ()を右クリックした後、【プロパティ】をクリックします。

- 本機のトップフォルダ()を選択した状態でメニューの【ファイル】→【プロパティ】でも操作できます。

➡【プロパティ】ダイアログが表示されます。



メモ

- 上記ダイアログ内の「空き領域に登録可能なページ数」は、あくまで目安です。登録するコンテンツの内容によって変わります。
- SV-70 の場合には、本機にメモリカードが装着されているときはメモリカードの使用量が表示され、メモリカードが装着されていないときは内蔵フラッシュメモリの使用量が表示されます。

2 内容を確認して【OK】をクリックします。

➡【プロパティ】ダイアログが閉じます。 21

3 章

本機のセキュリティ設定

SV-Manager の初期化で作成されるセキュリティフォルダは、パスワードを設定すると使用できます。本機専用ファイルは、セキュリティフォルダに登録するとパスワードで暗号化されます。メインフォルダでは、本機専用ファイルは暗号化されません。

セキュリティフォルダにパスワードを設定する	23
セキュリティフォルダを開く／閉じる	24
セキュリティフォルダを開く	24
セキュリティフォルダを閉じるには	24
セキュリティフォルダのパスワードを変更する	25



セキュリティフォルダにパスワードを設定する

セキュリティフォルダを使用するには、パスワードの設定が必要です。
ここで設定したパスワードは、本機でセキュリティフォルダを開くときにも使用します。

パスワードを設定するには、次のように操作します。

1 パスワードが設定されていない場合は、セキュリティフォルダ (🔒) をクリックします。

- トップフォルダ (📁) またはメインフォルダ (📁) を選択した後、メニューの [ツール] → [暗証番号設定 / 変更] でも操作できます。

➡【暗証番号設定】ダイアログが表示されます。

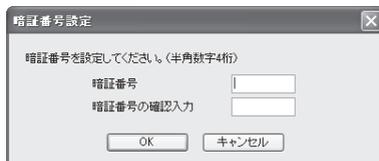


メモ

- セキュリティフォルダをクリックしても【暗証番号設定】ダイアログが表示されないときは、すでにパスワードが設定されています。
- すでにパスワードが設定されているセキュリティフォルダ (🔒) を選択して、メニューから [ツール] → [暗証番号設定 / 変更] の操作をすると、【暗証番号変更】ダイアログが表示されます。「セキュリティフォルダのパスワードを変更する」(P. 25) をご参照ください。

2 「暗証番号」に4桁のパスワードを入力します。

- パスワードは半角数字 0 ~ 9 で設定します。アルファベットや記号は設定できません。



3 「暗証番号の確認入力」にも「暗証番号」で入力したパスワードを入力します。

4 [OK] をクリックします。

- セキュリティフォルダが開き、🔒 から🔓 に変わります。

セキュリティフォルダを開く／閉じる

パスワードが設定されているセキュリティフォルダを開くには、次のように操作します。

セキュリティフォルダを開く

1 閉じているセキュリティフォルダ(🔒)をダブルクリックします。

- メニューの [ツール] → [セキュリティフォルダを開く] でも操作できます。

➡【暗証番号認証】ダイアログが表示されます。

2 4桁のパスワードを半角数字で入力し、[OK] をクリックします。



➡セキュリティフォルダが開き、🔒 から🔓 に変わります。

- 階層表示エリアのセキュリティフォルダが1階層展開して表示されます。その階層に本機専用ファイルがある場合は詳細表示エリアに表示されません。



メモ

パスワードの認証に3回失敗すると、【暗証番号認証】ダイアログが閉じ、暗証番号無効状態になります。「暗証番号無効状態になったときは」(P. 56) をご参照ください。

セキュリティフォルダを閉じるには

セキュリティフォルダを閉じるには、次の操作を行います。

1 開いているセキュリティフォルダ(🔓)を右クリックした後、[セキュリティフォルダを閉じる] をクリックします。

- メニューの [ツール] → [セキュリティフォルダを閉じる] でも操作できます。

➡セキュリティフォルダが閉じ、🔓 から🔒 に変わります。

- ファイル詳細表示エリア、プレビューエリアの表示が消去されます。



セキュリティフォルダのパスワードを変更する

すでにセキュリティフォルダに本機専用ファイルを保存してある場合でも、パスワードを変更できます。

パスワードを変更するには、次のように操作します。

1 セキュリティフォルダを開きます。

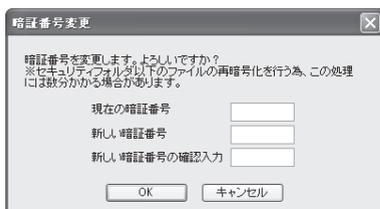
- 「セキュリティフォルダを開く／閉じる」(P. 24) をご参照ください。

2 セキュリティフォルダ(🔒)を右クリックした後、[暗証番号設定／変更] をクリックします。

- メニューの [ツール] → [暗証番号設定／変更] でも操作できます。

➡ [暗証番号変更] ダイアログが表示されます。

3 現在の4桁のパスワードを半角数字で入力します。



4 「新しい暗証番号」に4桁のパスワードを入力します。

- パスワードは半角数字 0 ～ 9 で設定します。アルファベットや記号は設定できません。

5 「新しい暗証番号の確認入力」にも「新しい暗証番号」で入力した 4 桁のパスワードを入力します。

6 [OK] をクリックします。

➡ [暗証番号変更中] ダイアログが表示されます。

- セキュリティフォルダの本機専用ファイルが再暗号化されます。再暗号化の進捗表示が 100% になるとパスワード変更処理が終了します。
- セキュリティフォルダに大量の本機専用ファイルがある場合、時間がかかることがあります。

4 章

コンテンツとフォルダ操作

本機専用ファイルを作成する	27
セキュリティフォルダに登録するには	28
アプリケーションソフトの印刷画面から作成する	28
【登録先選択】ダイアログが表示されたときは	29
ドラッグアンドドロップで作成する	29
SV-Manager が起動していない場合のドラッグアンドドロップ	30
SV-Manager の【データの登録】画面から作成する	31
プリンタードライバーの印刷設定を変更するには	32
アプリケーションソフトの【印刷】ダイアログから設定するには	38
Windows の [スタート] メニューから設定するには	38
コンテンツの内容に合わせて設定を調節するには	39
コンテンツを表示する／ページを回転する	40
ページを表示して確認する	40
ページの表示サイズを切り替えるには	40
ページをめくるには	40
ページ番号を指定して表示するには	41
ページを削除する	41
ページを 180 度回転して保存する	41
拡大表示用ページの向きを変更する	42
フォルダ／ファイルを管理する	43
フォルダを作成する	43
ファイル名／フォルダ名を変更する	43
ファイル／フォルダを移動する	43
ドラッグアンドドロップで移動するには	44
カットアンドペーストで移動するには	44
ファイル／フォルダをコピーする	45
ドラッグアンドドロップでコピーするには	45
メニューを利用してコピーするには	45
ファイル／フォルダを削除する	46
しるしを管理する	47
しるしを付ける	47
しるしを削除する	47
ページごとにしるしを削除する	47
しるしを一括削除する	47
しるしを利用する	48
評価情報を管理する	49
評価情報を変更する	49
本機専用ファイルを中間ファイル形式で管理する	50
中間ファイル形式でデータを書き出す	50
中間ファイル形式のデータを読み込む	51
ドラッグアンドドロップで BVD インポートするには	51
メニューで BVD インポートするには	52
内蔵フラッシュメモリのデータをメモリカードへ移動するには (SV-70 のみ)	52



本機専用ファイルを作成する

WindowsのWordやExcel、PDFなどのコンテンツの元ファイルを、SV-Managerのプリンタードライバーで本機用のデータに変換し、本機専用ファイルを作成します。

本機専用ファイルをセキュリティフォルダに作成、登録するには、本機用のデータに変換するとともに、暗号化します。

本機専用ファイルの作成には、次の4種類の操作方法があります。

① アプリケーションソフトの印刷画面から作成する

- WordやExcelなどのアプリケーションソフトから印刷するのと同様の操作で、本機用の本機専用ファイルを作成します。
- 登録先は本機のメインフォルダになります。本機が接続されていない場合は、ライブラリのメインフォルダになります。
- プリンタードライバーの印刷設定は、本機専用ファイルを作成するときに変更できます。

② 【SV-Manager】画面にファイルをドラッグアンドドロップする

- Windowsのデスクトップやエクスプローラからファイルやフォルダを選択して、起動している【SV-Manager】画面にドラッグアンドドロップして、本機専用ファイルを作成します。
- 本機またはライブラリの任意のフォルダに登録できます。
- 本機専用ファイルはあらかじめプリンタードライバーで印刷設定されたおりに作成されます。

③ SV-Manager ショートカットアイコンにファイルをドラッグアンドドロップする

- SV-Manager ショートカットアイコンにコンテンツの元ファイルをドラッグアンドドロップして本機専用ファイルを作成します。
- 登録先は本機のメインフォルダになります。
- 本機専用ファイルはあらかじめプリンタードライバーで印刷設定されたおりに作成されます。

④ SV-Manager の【データの登録】画面から作成する

- SV-Manager のメニューから開いた【データの登録】画面から本機専用ファイルを作成します。
- 本機またはライブラリの任意のフォルダに登録できます。
- 本機専用ファイルはあらかじめプリンタードライバーで印刷設定されたおりに作成されます。



- 1つの本機専用ファイルに登録可能な最大ページ数は、9,999 ページです。10,000 ページ以上のコンテンツの元ファイルから登録する場合は、ページ指定して複数の本機専用ファイルに分割して登録してください。
- SV-70 の内蔵フラッシュメモリに登録可能なページ数は、約500ページ (100MB) です。
- フォルダに同じコンテンツの元ファイルで本機専用ファイルを2度作成すると、同じ名称の本機専用ファイルが2個作成されます。上書きされません。
- 本機専用ファイルのコンテンツページは、ビットマップと同様にドットで表現したラスタデータです。
- プリンタードライバーの印刷設定は、「プリンタードライバーの印刷設定を変更するには」(P. 32)をご参照ください。
- Adobe Reader は Ver.9以降をご使用ください。

セキュリティフォルダに登録するには

セキュリティフォルダに本機専用ファイルに登録するには、セキュリティフォルダが開いている必要があります。

閉じているときにセキュリティフォルダを選択すると、【暗証番号認証】ダイアログが開きます。パスワードの認証が成功すると、セキュリティフォルダに本機専用ファイルを登録できます。「セキュリティフォルダを開く／閉じる」(P. 24) をご参照ください。

アプリケーションソフトの印刷画面から作成する

Word や Excel, Adobe Reader などのアプリケーションソフトの印刷画面から作成するには、次のように操作します。

1 アプリケーションソフトの【印刷】ダイアログを表示します。

2 「プリンタ」のプルダウンメニューから「Brother SV-70/100B Printer」を選択します。

- プリンタードライバーの設定を変更するには、[プロパティ] をクリックします。「プリンタードライバーの印刷設定を変更するには」(P. 32) をご参照ください。

3 [OK] をクリックします。

➔【登録中】ダイアログに進捗状態が表示されます。

- 中止するには、[キャンセル] をクリックします。



- 【キャンセル】 をクリックすると、本機専用ファイルの作成を中止し、作成済みのページのみ登録されます。
- 複数の本機を接続している場合は、【登録先選択】ダイアログが表示されます。「【登録先選択】ダイアログが表示されたときは」(P. 29) をご参照ください。

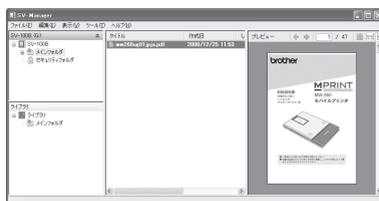
➔登録が終了すると、メッセージが表示されます。

- Windows デスクトップ右下に「SV-100B (SV-70 または SV-70 (内蔵フラッシュメモリ)) (本機のトップフォルダ名を変更した場合はその名称) に登録しました。」のメッセージが表示されます。



Windows デスクトップ右下のメッセージは「SV-Manager の操作環境を変更するには」(P. 54) で表示しないように変更できます。

➔本機専用ファイルが、メインフォルダに登録されます。

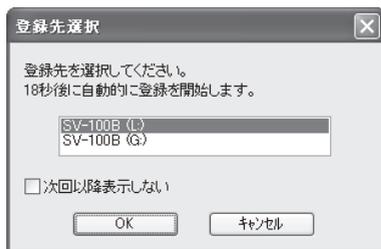


【登録先選択】ダイアログが表示されたときは

複数の本機を接続している場合は、【登録先選択】ダイアログが表示されます。

1 登録先を選択して、[OK] をクリックします。

- [OK] をクリックしないで一定時間が経過すると、本機専用ファイルは【登録先選択】ダイアログで選択状態にある本機に登録されます。
- 本機専用ファイルの作成を中止するには、[キャンセル] をクリックします。



次回から【登録先選択】ダイアログを表示しないようにするには、「次回以降表示しない」をチェックします。再度表示させたいときは、「SV-Manager の操作環境を変更するには」(P. 54) をご参照ください。

ドラッグアンドドロップで作成する

1 つのファイル、複数ファイル、あるいはフォルダの階層を保ったまま、コンテンツの元ファイルを変換して本機専用ファイルを作成し、任意のフォルダに登録できます。

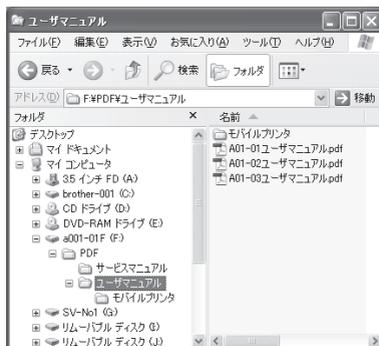


- コンテンツの元ファイルを右クリックしたとき、「印刷」メニューが表示されないファイルはドラッグアンドドロップでは操作できません。
- フォルダ階層はドロップ先の階層を含めて最大 16 階層です。ドロップ先がメインフォルダの場合はトップフォルダとメインフォルダで 2 階層となるため、作成元のフォルダ階層は 14 階層までとなります。

ドラッグアンドドロップで作成するには、次のように操作します。

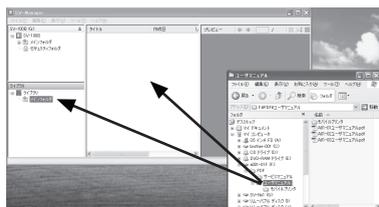
1 ファイルまたはフォルダを選択します。

- デスクトップまたはエクスプローラで、1 個または複数のコンテンツの元ファイル、またはフォルダを選択します。



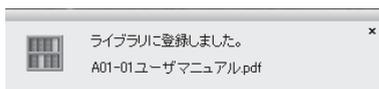
2 階層表示エリアのフォルダ、またはファイル詳細表示エリアにドラッグアンドドロップします。

- 階層表示エリアの任意のフォルダにドラッグアンドドロップします。
- ファイル詳細表示エリアにドロップすると、階層表示エリアで選択中のフォルダが登録先になります。
- ドロップできる場所のときは、ポインタが  に変わります。ドロップできない場所のときは  に変わります。



- ▶ コンテンツの元ファイルに関連づけられたアプリケーションソフトが起動し、【登録中】ダイアログに進捗状態が表示されます。

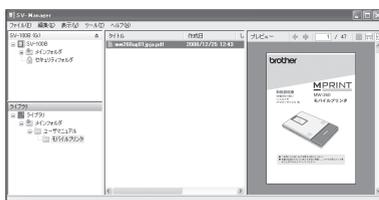
- 複数のコンテンツの元ファイルを選択すると、本機専用ファイルの登録終了ごとに、Windows デスクトップ右下に「SV-100B(SV-70 または SV-70 (内蔵フラッシュメモリ)) (本機のトップフォルダ名を変更した場合はその名称) に登録しました。」または「ライブラリに登録しました。」のメッセージが表示されます。



- [キャンセル] をクリックすると、表示中の本機専用ファイルの作成を中止し、作成済みのページのみ指定フォルダに登録します。複数のコンテンツの元ファイルを選択した場合には、表示中の本機専用ファイルの作成を中止し、次の本機専用ファイルの【登録中】ダイアログが表示されます。
- Windows デスクトップ右下のメッセージは「SV-Manager の操作環境を変更するには」(P. 54) で表示しないように変更できます。

➡ 選択したフォルダに本機専用ファイルが登録されます。

- 階層を持ったフォルダを選択した場合は、フォルダ階層を保ったまま登録されます。



SV-Manager が起動していない場合のドラッグアンドドロップ

SV-Manager が起動していないときにも、コンテンツの元ファイルを SV-Manager のショートカットアイコンにドラッグアンドドロップして、本機専用ファイルを作成できます。

- 1 コンテンツの元ファイルをSV-Manager ショートカットアイコンにドラッグアンドドロップします。



➡ SV-Manager が起動します。

- SV-Manager 起動後、【登録中】ダイアログが表示されます。
- コンテンツの元ファイルのアプリケーションソフトが起動します。





- SV-Managerは起動しないように設定できます。「SV-Manager の操作環境を変更するには」(☞ P. 54) をご参照ください。
- [キャンセル] をクリックすると、表示中の本機専用ファイルの作成を中止し、作成済みのページのみ指定フォルダに登録します。複数のコンテンツの元ファイルを選択した場合には、表示中の本機専用ファイルの作成を中止し、次の本機専用ファイルの【登録中】ダイアログが表示されます。
- 複数の本機を接続している場合は、【登録先選択】ダイアログが表示されます。「【登録先選択】ダイアログが表示されたときは」(☞ P. 29) をご参照ください。

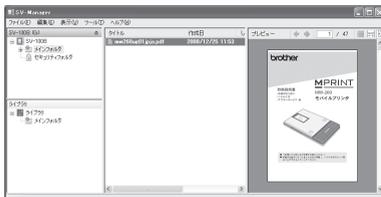
➡登録が終了すると、メッセージが表示されます。

- Windows デスクトップ右下に「SV-100B (SV-70 または SV-70 (内蔵フラッシュメモリ)) (本機のトップフォルダ名を変更した場合はその名称) に登録しました。」のメッセージが表示されます。



Windows デスクトップ右下のメッセージは「SV-Manager の操作環境を変更するには」(☞ P. 54) で表示しないように変更できます。

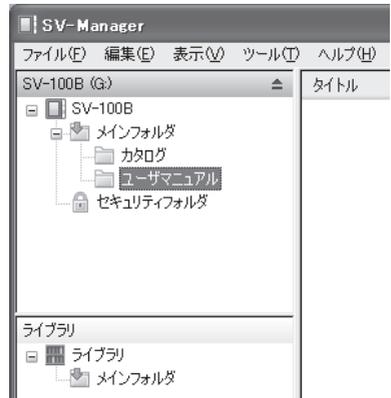
➡本機専用ファイルが、メインフォルダに登録されます。



SV-Manager の【データの登録】画面から作成する

メニューの [ファイル] → [データの登録] で【データの登録】画面を表示して作成する場合は、あらかじめ登録先フォルダを選択します。次のように操作します。

1 階層表示エリアで登録先のフォルダを選択します。



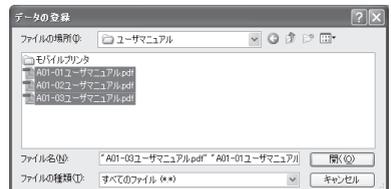
2 右クリックして、[データの登録] をクリックします。

- メニューの [ファイル] → [データの登録] でも操作できます。

➡【データの登録】ダイアログが表示されます。

3 ファイルを選択します。

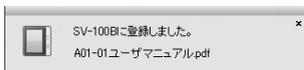
- 複数ファイルを選択できます。



4 [開く] をクリックします。

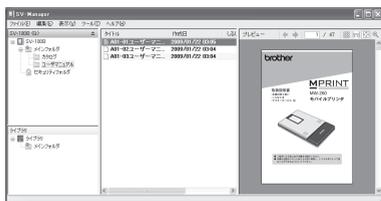
➡コンテンツの元ファイルに関連づけられたアプリケーションソフトが起動し、【登録中】ダイアログに進捗状態が表示されます。

- 複数のコンテンツの元ファイルを選択すると、本機専用ファイルの登録終了ごとに、Windows デスクトップ右下に「SV-100B(SV-70 または SV-70 (内蔵フラッシュメモリ)) (本機のトップフォルダ名を変更した場合はその名称) に登録しました。」または「ライブラリに登録しました。」のメッセージが表示されます。



- [キャンセル] をクリックすると、表示中の本機専用ファイルの作成を中止し、作成済みのページのみ指定フォルダに登録します。
- 複数のコンテンツの元ファイルを選択した場合に [キャンセル] をクリックすると、表示中の本機専用ファイルの作成を中止し、次の本機専用ファイルの【登録中】ダイアログが表示されます
- Windows デスクトップ右下のメッセージは「SV-Manager の操作環境を変更するには」(P. 54) で表示しないように変更できます。

➡選択したフォルダに本機専用ファイルが登録されます。



プリンタードライバーの印刷設定を変更するには

コンテンツの元ファイルから本機専用ファイルを作成するとき、プリンタードライバーでページの拡大や用紙の向き、画像の解像度などを変更できます。

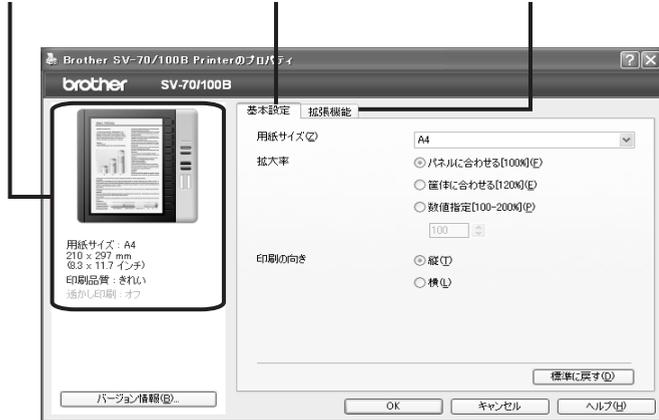
アプリケーションソフトの【印刷】ダイアログから【Brother SV-70/100B Printerのプロパティ】ダイアログを開くか、Windowsの[スタート]メニューから【Brother SV-70/100B Printer 印刷設定】ダイアログを開いて設定します。



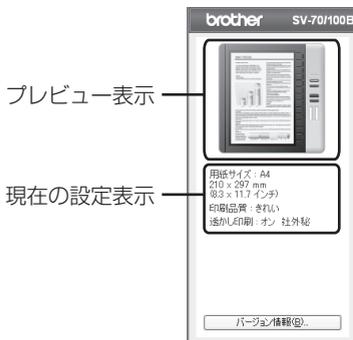
- 【Brother SV-70/100B Printer 印刷設定】ダイアログで設定した内容は、【Brother SV-70/100B Printerのプロパティ】ダイアログの初期値となります。よく使用するアプリケーションソフトや作成するコンテンツ内容の傾向が似ているときは、【Brother SV-70/100B Printer 印刷設定】ダイアログで設定すると、アプリケーションソフトで毎回設定を変更する手間が省けます。
- ドラッグアンドドロップおよび SV-Manager の【データの登録】画面で本機専用ファイルを作成するときは、【Brother SV-70/100B Printer 印刷設定】ダイアログで設定した内容が適用されます。

- 【Brother SV-70/100B Printerのプロパティ】（【Brother SV-70/100B Printer 印刷設定】）ダイアログには、インフォメーションエリアと「基本設定」タブ、「拡張機能」タブがあります。

インフォメーションエリア 「基本設定」タブ 「拡張機能」タブ



■ インフォメーションエリアについて



プレビュー表示

現在の設定表示

○ プレビュー表示

「拡大率」および「印刷の向き」の設定に応じたサンプルイメージを表示します。

○ 現在の設定表示

用紙サイズ、印刷品質など現在の設定が表示されます。

■「基本設定」タブの設定項目



○用紙サイズ

プルダウンメニューから、使用する用紙サイズを選択します。

○拡大率

標準表示用画像のページ表示サイズを設定します。

拡大率を高くするとページの解像度が向上するので、文章が読みやすくなります。

- **パネルに合わせる [100%]** (初期設定)
コンテンツページの 1 ページを本機表示のドット数 (1200 × 825) に合わせて作成します。
- **筐体に合わせる [120%]**
コンテンツページを 120% に拡大し、ページの中心部分を本機で表示が可能なサイズ (1200 × 825 ドット) に切り取って作成します。表示できない余白は切り取られます。
- **数値指定 [100-200%]**
コンテンツページを 100 ~ 200% の整数で指定したサイズに拡大し、ページの中心部分を本機で表示が可能なサイズ (1200 × 825 ドット) に切り取って作成します。表示できない余白は切り取られます。



メモ

拡大率を 101%以上に設定すると、ページの余白が切り取られます。拡大率を高くするほど、切り取られる余白は多くなります。

○印刷の向き

印刷する用紙の向き [縦] / [横] を設定します。

- **縦**
用紙を縦長に使用して印刷します。
- **横**
用紙を横長に使用して印刷します。



メモ

アプリケーションソフトの [ファイル] メニューにある [ページ設定] (または [印刷設定]) で、用紙の向きを設定できる場合は、アプリケーションソフトで設定した用紙の向きが優先されます。

■「拡張機能」タブの設定項目



○ 印刷品質

印刷品質を設定します。

- **きれい** (初期設定)
最高画質で印刷します。
高画質の写真データや文書を印刷する場合に選択します。高解像度で印刷するので、印刷時間は長くなります。
- **高速**
高速で印刷します。
文書を大量に印刷する場合など、印刷品質よりも印刷速度を優先するときに選択します。
- **カスタム設定**
印刷品質の各機能を個別に設定する場合に選択します。
文字や線画、画像などのコンテンツ内容に合わせて印刷品質を設定できます。各機能の内容は次の通りです。

【階調処理を行う】

チェックすると、コンテンツの階調変換処理を実行して、特にイメージデータの画質を向上させます。



- 初期設定はチェックボックスがオンになっています。
- チェックボックスをオンにすると、印刷時間が長くなります。
- チェックボックスをオフにすると、階調変換処理は実行されないため画質は向上しませんが、印刷時間は短くなります。

【滑らかにする】

チェックすると、中間調を使ってコンテンツのテキストを表現します。PDF (特にフォントが埋め込まれた) ファイルの画質が著しく低下する場合は、「滑らかにする」を設定すると画質が向上します。



- 初期設定はチェックボックスがオンになっています。
- チェックボックスをオンにすると、高解像度の仮想イメージデータを作成するため、メモリ使用量が増加し印刷時間も長くなります。

【拡大用画像を生成する】

チェックすると、本機の<拡大>を押ししたときに表示する拡大用画像を、標準サイズの画像とは別に作成します。



- 初期設定はチェックボックスがオンになっています。
- チェックボックスをオフにすると、拡大用画像が作成されないためデータ容量を縮小できます。しかし、本機の<拡大>を押ししたときには、標準サイズの画像を拡大表示するため、コンテンツの画質は低下します。

○濃度調整

スライダーを移動させて、印刷の濃度を設定します。
[最も薄い] (-64) ~ [最も濃い] (+64) の範囲で調整できます。初期設定は [標準] (0) です。

○透かし印刷を使う

チェックすると、文字や画像（ビットマップ）を透かしとして文書に入れることができます。あらかじめ登録されている透かしの一つを選択するか、新たに文字や画像（ビットマップ）を透かしとして登録して使うことができます。
透かしの設定を変更したり、新しい透かしを作成したり、透かしを削除する場合は、[設定] をクリックします。
【透かし印刷設定】ダイアログが表示されます。



あらかじめ登録されているサンプルの透かしは、設定を変更したり削除したりすることはできません。

●透過印刷する

チェックすると、文書の上に透かしを透過して印刷します。
チェックボックスをオフにすると、文書の上に透かしを透過させずに印刷します。
初期設定はチェックボックスがオンになっています。

●袋文字で印刷する

チェックすると、透かしを袋文字で印刷します。
初期設定はチェックボックスがオフになっています。

【透かし印刷編集】

【透かし印刷設定】ダイアログの [設定] または [追加] をクリックすると、【透かし印刷編集】ダイアログが表示され、選択した透かしの設定を変更したり、新しい透かしを追加したりすることができます。



あらかじめ登録されているサンプルの透かしは、設定を変更したり削除したりすることはできません。

【透かし印刷設定】

[透かし印刷を使う] をチェックして [設定] をクリックすると、【透かし印刷設定】ダイアログが表示されます。



●透かし設定

使用する透かしを、リストボックスから選択します。
選択した透かしのイメージが左のプレビュー画面に表示されます。
[追加]：新しい透かしを作成・追加します。
【透かし印刷編集】ダイアログが表示されます。
[設定]：選択した透かしの設定を変更します。
【透かし印刷編集】ダイアログが表示されます。
[削除]：選択した透かしを削除します。



●位置

透かしを配置するページ上の位置や角度を設定します。
[中央合わせ]：チェックすると、透かしをページの中央に配置します。
[x] / [y]：x 軸と y 軸の座標値で、透かしの印刷位置を設定します。
ページの中央は、x = 0、y = 0 です。
[傾き]：透かしに使用する文字の傾きを設定します。

● スタイル

新しく追加する透かしが、文字かビットマップかを選択します。

● タイトル

設定した透かしの名前を設定します。ここで設定した名前は、「透かし設定」に表示されます。

[タイトル] は 30 文字まで入力できません。

● 文字（文字を使う）を選択すると有効になります。）

透かしの文字を [表示内容] ボックスに入力して、[フォント]、[スタイル]、[サイズ]、[濃さ] を設定します。

[表示内容]：透かしに使用する文字を入力します。30 文字まで入力できます。

[フォント]：プルダウンメニューから、書体を選択します。

[スタイル]：プルダウンメニューから、文字のスタイルを選択します。

[サイズ]：文字サイズをポイント単位で設定します。文字サイズは、8 ポイントから 255 ポイントの範囲で設定します。

[濃さ]：透かし文字の濃さを、0% から 100% の範囲で設定します。

● ビットマップ（[ビットマップを使う]を選択すると有効になります。）

[ファイル] ボックスに、透かしとして使用するビットマップファイルのパスを入力するか、[参照] をクリックしてビットマップファイルを指定します。

● 拡大・縮小 [25 - 999 %]

透かしの大きさを 25% から 999% の範囲で設定します。

○ スキャンされたページ数の多いファイルを高速に登録する

スキャンされたページ数の多いファイルを高速に登録できます。

スキャンで生成されたファイルは、条件によってはデータ容量が大きくなり処理負荷が高まって、登録されるまでの時間が長くなる場合があります。

このようなファイルを印刷する場合は、本機能をオンにすることで、オフのときに比べて高速に登録できます。



- 初期設定はチェックボックスがオフになっています。
- チェックボックスをオンにすると、印刷するアプリケーションソフトが印刷処理から解放されるまでの時間が長くなる場合があります。
- 64bit OS では、この機能は無効となり、使用できません。
- 本機能の効果が大きい印刷条件は、以下のような条件の場合です。
 - ・ PC 環境：メモリ 2G バイト
 - ・ 印刷ファイル条件：
 - ・ A4 原稿をカラーの 300dpi でスキャンした 50 ページ以上のファイル
- 上記の条件は、あくまで目安です。PC 環境やファイルによって変わります。

- [標準に戻す] をクリックすると、表示しているタブの設定項目を出荷時の初期設定に戻します。
- Windows の [スタート] メニューから開いた【Brother SV-70/100B Printer 印刷設定】ダイアログには、[適用] ボタンがあります。

■ アプリケーションソフトの [印刷] ダイアログから設定するには

- 1 【印刷】ダイアログで「Brother SV-70/100B Printer」を選択した後、[プロパティ] をクリックします。



- ➔【Brother SV-70/100B Printer のプロパティ】ダイアログが表示されます。

- 2 タブを切り替えて各項目を設定します。

- 3 [OK] をクリックします。



■ Windows の [スタート] メニューから設定するには

- 1 Windows の [スタート] メニューから [プリンタと FAX] をクリックします。



- Windows Vista のときは、[スタート] メニューから [コントロールパネル] をクリックした後、[ハードウェアとサウンド] → [プリンタ] をクリックします。
- Windows 7 のときは、[スタート] メニューから [コントロールパネル] をクリックした後、[ハードウェアとサウンド] → [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。

- ➔【プリンタと FAX】ダイアログが表示されます。

- 2 「Brother SV-70/100B Printer」をポイントして右クリックし、[印刷設定] をクリックします。

- ➔【Brother SV-70/100B Printer 印刷設定】ダイアログが表示されます。

- 3 【Brother SV-70/100B Printer 印刷設定】ダイアログでタブを切り替えて各項目を設定し、[OK] をクリックします。



コンテンツの内容に合わせて設定を調節するには

文字や線画、画像などのコンテンツ内容に合わせて印刷設定を変更すると、より閲覧しやすい本機専用ファイルを作成できます。

推奨設定

コンテンツの元ファイル、アプリケーション	コンテンツ内容	設定
PDF	テキストとイメージが混在	[階調処理を行う] : ON [滑らかにする] : ON
	テキスト中心	[階調処理を行う] : OFF [滑らかにする] : ON
Word, Excel など	テキストとイメージが混在し、文字を滑らかに表示したい場合	[階調処理を行う] : ON [滑らかにする] : ON
	テキスト中心で、文字を滑らかに表示したい場合	[階調処理を行う] : OFF [滑らかにする] : ON
	文字の輪郭をはっきり表示したい場合	[階調処理を行う] : ON [滑らかにする] : OFF

※ 「ON」 はチェックを付けることを、「OFF」 はチェックを外すことを示します。

コンテンツを表示する／ページを回転する

ページを表示して確認する

作成した本機専用ファイルのコンテンツページを表示して、本機での表示状態を確認できます。

1 ファイルの一覧を表示するには、階層表示エリアでフォルダアイコンをクリックします。

▶フォルダのドキュメントファイルの一覧がファイル詳細表示エリアに表示されます。

- セキュリティフォルダが閉じているときにセキュリティフォルダをクリックしてもファイルの一覧は表示されません。
- 【暗証番号設定】ダイアログが表示されたときは、「セキュリティフォルダにパスワードを設定する」(P. 23)をご参照ください。
- SV-70の場合には、本機にメモ리카ードが装着されているときはメモ리카ード内のフォルダが表示され、メモ리카ードが装着されていないときは内蔵フラッシュメモリ内のフォルダが表示されます。

2 フォルダを開くには、フォルダの [+] をクリックします。

- フォルダアイコンをダブルクリックしても操作できます。

▶フォルダが1階層展開されます

- セキュリティフォルダが閉じているときにダブルクリックすると、【暗証番号認証】ダイアログが表示されます。「セキュリティフォルダを開く／閉じる」(P. 24)をご参照ください。

3 ファイル詳細表示エリアでファイルを選択します。

▶ファイルの先頭ページがプレビュー表示エリアに表示されます。

ページの表示サイズを切り替えるには

ページの表示サイズを切り替えられます。次の操作を行います。

1 プレビュー表示エリアの  をクリックします。

- メニューの [表示] → [表示サイズ] → [サムネイル] / [ウィンドウの幅に合わせる] / [ページ全体] / [標準] / [拡大] でも操作できます。
- プレビュー表示エリアを右クリックしても、メニューと同じ操作ができます。

▶選択した表示サイズに切り替わります。

-  (標準/拡大) は、クリックするごとに標準表示と拡大表示が切り替わります。
- サムネイルページをダブルクリックすると、ページ全体表示に切り替わります。

ページをめくるには

プレビュー表示エリアに表示中のコンテンツは、ページをめくることができます。次の操作を行います。

1 プレビュー表示エリアの  または  をクリックします。

- メニューで [表示] → [前のページに移動] / [次のページに移動] でも操作できます。
- 表示中のページが先頭ページまたは最終ページに達すると、ページはそれ以上切り替わりません。

▶1クリックごとに1ページずつ表示が切り替わります。

- サムネイル表示のときは、選択ページを示す青い枠が移動します。

■ ページ番号を指定して表示するには

特定のページへジャンプできます。次の操作を行います。

- 1 プレビュー表示エリアのページ番号ボックスに、表示したいページ番号を入力して、< Enter >を押します。



➡ 指定したページが表示されます。

- サムネイル表示のときは、選択ページを示す青い枠が移動します。

■ ページを削除する

不要なページは削除できます。

- 1 プレビュー表示エリアで削除するページを選択します。

- 複数ページを同時に選択できません。
- サムネイル表示のときは、選択ページは青い枠で表示されています。

- 2 < Delete >を押します。

- 右クリックした後に [削除：〇〇ページ目]、またはメニューの [編集] → [削除：〇〇ページ目] でも操作できます。

➡【ページ削除】ダイアログが表示されます。

- 1 ページのみのファイルのときは、【ドキュメント削除】ダイアログが表示されます。

- 3 [はい] をクリックします。

- [いいえ] をクリックすると削除を中止します。

➡ 選択したページが削除されます。

■ ページを 180 度回転して保存する

用紙が横向き（ランドスケープモード）のコンテンツの場合など、本機専用ファイルの本機で表示するときには上下が逆になってしまうことがあります。このような場合に、ページを 180 度回転します。

- 1 プレビュー表示エリアで 180 度回転するページを選択します。

- 複数ページを同時に選択できません。
- サムネイル表示のときは、選択ページは青い枠で表示されています。

- 2 右クリックした後、[180 度回転して保存] をクリックします。

- メニューの [編集] → [180 度回転して保存] でも操作できます。

➡【180 度回転して保存】ダイアログが表示されます。

- 3 [はい] をクリックします。

- [いいえ] をクリックすると 180 度回転を中止します。

➡ 選択したページが 180 度回転して表示されます。

拡大表示用ページの向きを変更する

用紙が横向き（ランドスケープモード）のコンテンツの場合など、本機専用ファイルの本機で拡大表示するときに、標準表示用画像では上下が正しく表示されるのに、拡大表示用画像を表示したときに上下が逆になってしまうことがあります。このような場合に、拡大表示用画像のみ、向きを 180 度回転します。



注意

- 拡大表示用画像の上下の逆の確認は、SV-Manager の拡大表示（プレビュー表示エリアでの右クリックから【表示サイズ】→【拡大】、またはメニューの【表示】→【表示サイズ】→【拡大】、または ) ではできません。本機で確認してください。
- 標準表示用画像と拡大表示用画像の両方の向きを 180 度回転するときは、「ページを 180 度回転して保存する」( P. 41) をご参照ください。

.....

1 プレビュー表示エリアで拡大表示用ページの用紙の向きを変更するページを選択します。

- 複数ページを同時に選択できません。
- サムネイル表示のときは、選択ページは青い枠で表示されています。

.....

2 右クリックした後、【用紙の向き】→【縦】／【横】をクリックします。

- メニューの【編集】→【用紙の向き】→【縦】／【横】でも操作できます。



注意

プレビュー表示エリアの拡大表示用画像の表示の向きは変わりません。SV-Manager では拡大表示用画像の上下の確認はできませんので、本機で確認してください。

フォルダ／ファイルを管理する

複数の本機の間で、または本機とライブラリ間でフォルダと本機専用ファイルの移動、コピーができます。

フォルダを作成する

トップフォルダ、ライブラリには、16 階層までのフォルダが作成できます。同じ階層に、同名のフォルダを作成することもできます。

1 階層表示エリアで親となるフォルダを選択します。

2 右クリックし、[フォルダの追加] をクリックします。

- メニューの [ファイル] → [フォルダの追加] でも操作できます。

➡ 指定位置にフォルダが追加されます。

- 名称「新しいフォルダ」は、白抜き反転文字で名称変更が可能な状態になっています。

3 フォルダ名称を入力し、< Enter > を押します。

➡ フォルダ名称が確定します。

ファイル名／フォルダ名を変更する

本機に表示される本機専用ファイル名とフォルダ名は、SV-Manager で表示される名称で表示されます。複数の本機または複数のメモ리카ードを利用する場合、コピーにより同一名称の本機専用ファイルがある場合は、名称を変更しておく便利です。初期化で設定される本機トップフォルダ名 (SV-100B、SV-70 または SV-70 (内蔵フラッシュメモリ)) も変更できます。



ライブラリの名称「ライブラリ」は変更できません。

1 階層表示エリアのフォルダ、または詳細表示エリアのファイルをクリックした後、再度クリックします。

- フォルダまたはファイルをポイントして右クリックした後に [名前の変更]、またはフォルダまたはファイルをクリックした後にメニューの [ファイル] → [名前の変更] でも操作できます。
- セキュリティフォルダは開いているときに変更できます。

➡ 名称が白抜き反転文字になり、名称変更が可能な状態になります。

2 名称を入力し、< Enter > を押します。

➡ 名称が確定します。

ファイル／フォルダを移動する

本機でのフォルダの表示順序は、階層表示エリアに表示される順序で表示されます。本機専用ファイルの表示順序は、ファイル詳細表示エリアに表示される順序で表示されます。



- トップフォルダ、メインフォルダ、セキュリティフォルダは、ほかの階層へ移動できません。メインフォルダ、セキュリティフォルダは、トップフォルダでの順序の入れ替えはできます。
- 本機専用ファイルは、任意の場所に移動できます。

■ドラッグアンドドロップで移動するには

1 階層表示エリアのフォルダ、または詳細表示エリアのファイルをドラッグします。

- フォルダは1つ、ファイルは複数選択ができます。

2 移動先のフォルダまたはファイル移動位置へドロップします。

- ドロップできる場所のときは、ポインタが  から  に変わります。ドロップできない場所のときは、 に変わります。
- ファイルをほかのフォルダへ移動するには、階層表示エリアへドロップします。
- ファイルの順序を入れ替えるときは、ファイル詳細表示エリアでドロップします。



閉じたセキュリティフォルダにドロップすると、【暗証番号認証】ダイアログが表示されます。「セキュリティフォルダを開く／閉じる」(P. 24)をご参照ください。

➡【移動しています】ダイアログが表示されます。

- 移動中のファイル名が表示されます。
- 中止するには【キャンセル】をクリックします。



- 【キャンセル】をクリックすると、表示されているファイルの移動を中止します。複数のファイルを選択した場合には、それ以降のファイルの移動も中止します。
- 移動中に中止したファイルは、移動元には全ページが残り、移動先には途中までのページのファイルが残ります。

■カットアンドペーストで移動するには



カットアンドペーストでは、ほかのフォルダへの移動のみできます。同じフォルダへのカットアンドペーストはできないため、並び順を変更することはできません。

1 階層表示エリアのフォルダ、または詳細表示エリアのファイルを選択します。

2 右クリックした後、【切り取り】をクリックします。

- メニューの【編集】→【切り取り】でも操作できます。

3 移動先のフォルダをクリックします。

4 右クリックした後、【貼り付け】をクリックします。

- メニューの【編集】→【貼り付け】でも操作できます。



閉じたセキュリティフォルダを選択すると、【暗証番号認証】ダイアログが表示されます。「セキュリティフォルダを開く／閉じる」(P. 24)をご参照ください。

➡【移動しています】ダイアログが表示されます。

- 移動中のファイル名が表示されます。
- 中止するには【キャンセル】をクリックします。



- 【キャンセル】をクリックすると、表示されているファイルの移動を中止します。複数のファイルを選択した場合には、それ以降のファイルの移動も中止します。
- 移動中に中止したファイルは、移動元には全ページが残り、移動先には途中までのページのファイルが残ります。ただし本機内で移動する場合は、全ページが移動されます。

ファイル／フォルダをコピーする

本機専用ファイルとフォルダは、同じフォルダにもコピーできます。コピー先に同じフォルダを指定すると、同じ名称の本機専用ファイルまたはフォルダが複数作成されます。

■ドラッグアンドドロップでコピーするには

1 階層表示エリアのフォルダ、または詳細表示エリアのファイルを選択します。

- フォルダは1つ、ファイルは複数が選択できます。

2 <Ctrl>を押しながらドラッグし、コピー先のフォルダまたはファイル挿入位置へドロップします。

- ドロップできる場所のときは、ポインタが  から  に変わります。ドロップできない場所のときは、 に変わります。



閉じたセキュリティフォルダにドロップすると、【暗証番号認証】ダイアログが表示されます。「セキュリティフォルダを開く／閉じる」(P. 24)をご参照ください。

▶【コピーしています】ダイアログが表示されます。

- コピー中のファイル名が表示されます。
- 中止するには【キャンセル】をクリックします。



- 【キャンセル】をクリックすると、表示されているファイルのコピーを中止します。複数のファイルを選択した場合には、それ以降のファイルのコピーも中止します。
- コピー中にキャンセルされたファイルは、コピー先には途中までのページのファイルが作成されます。

■メニューを利用してコピーするには

1 階層表示エリアのフォルダ、または詳細表示エリアのファイルを選択します。

2 右クリックした後、【コピー】をクリックします。

- メニューの【編集】→【コピー】でも操作できます。

3 コピー先のフォルダをクリックします。

4 右クリックした後、【貼り付け】をクリックします。



閉じたセキュリティフォルダを選択すると、【暗証番号認証】ダイアログが表示されます。「セキュリティフォルダを開く／閉じる」(P. 24)をご参照ください。

▶【コピーしています】ダイアログが表示されます。

- コピー中のファイル名が表示されます。
- 中止するには【キャンセル】をクリックします。



- 【キャンセル】をクリックすると、表示されているファイルのコピーを中止します。複数のファイルを選択した場合には、それ以降のファイルのコピーも中止します。
- コピー中にキャンセルされたファイルは、コピー先には途中までのページのファイルが作成されます。

ファイル／フォルダを削除する

1 階層表示エリアのフォルダ、または詳細表示エリアのファイルを選択します。

- フォルダは1つ、ドキュメントファイルは複数が選択できます。

2 < Delete >を押します。

- 右クリックした後に [削除]、またはメニューの [編集] → [削除] でも操作できます。

▶【ドキュメント削除】ダイアログが表示されます。

3 [はい] をクリックします。

- [いいえ] をクリックすると削除を中止します。

▶【削除しています】ダイアログが表示されます。

- 削除中のファイル名が表示されます。ファイルは最終ページから順に削除されます。複数のファイルを選択したときは、最終ファイルの最終ページから順に削除されます。
- 中止するには [キャンセル] をクリックします。



- [キャンセル] をクリックすると、表示されているファイルの削除を中止します。複数のファイルを選択した場合には、それ以降のファイルの削除も中止します。
- 削除中に中止したファイルは、削除されなかったページのみが残ったファイルになります。

しるしを管理する

書類に付せんを付けるように、ページにしるし■を付けることができます。コンテンツの扉や重要なページにしるしを付けておくと、本機での閲覧に便利です。

しるしを付ける

しるしの付いていないページにしるしを付けます。

1 しるしを付けたいページを表示します。

- サムネイル表示のときは、プレビュー表示エリアでしるしの付いていないページをクリックします。

2 プレビュー表示エリアで右クリックした後、[しるし] → [しるしの追加] をクリックします。

- メニューの [編集] → [しるし] → [しるしの追加] でも操作できます。

➡ ページ右上にしるし■が付きます。

- ファイル詳細表示エリアの「しるし」項目には、ファイルに付けたしるしの個数が表示されます。



しるしを削除する

しるしをページごとに削除したり、一括で削除できます。

ページごとにしるしを削除する

しるしの付いているページのしるしを削除します。

1 しるしの付いているページを表示します。

- サムネイル表示のときは、プレビュー表示エリアでしるしの付いているページをクリックします。

2 ページを右クリックした後、[しるし] → [しるしの削除] をクリックします。

- メニューの [編集] → [しるし] → [しるしの削除] でも操作できます。

➡ ページ右上のしるし■が削除されます。

- ファイル詳細表示エリアの「しるし」項目の個数が1個減ります。

しるしを一括削除する

プレビュー表示エリアに表示している本機専用ファイルに付いているすべてのしるしを一括で削除します。

1 プレビュー表示エリアで右クリックした後、[しるし] → [しるしの全削除] をクリックします。

- メニューの [編集] → [しるし] → [しるしの全削除] でも操作できます。

➡ すべてのページのしるし■が削除されます。

- ファイル詳細表示エリアの「しるし」項目の個数表示が消えます。

しるしを利用する

しるしの付いているページに素早く移動できます。

1 プレビュー表示エリアで右クリックした後、[しるし] → [前のしるしへ移動] または [次のしるしへ移動] をクリックします。

- メニューの [編集] → [しるし] → [前のしるしへ移動] / [次のしるしへ移動] でも操作できます。

➡ 前のしるしページまたは次のしるしページへジャンプします。

- サムネイル表示のときは、選択ページを示す青い枠が次のしるしページへ移動します。
- 先頭のしるしページを表示中に [前のしるしへ移動] をクリックすると、最終のしるしページへ移動します。
- 最終のしるしページを表示中に [次のしるしへ移動] をクリックすると、先頭のしるしページへ移動します。

評価情報を管理する

評価情報を変更する

本機専用ファイルごとに評価マークを付けることができます。

タイトル	作成日	しるし	評価	閲覧日
<input type="checkbox"/> mw260ue01.jpja.pdf	2008/12/23 06:02	(5)	★★★★★	
<input type="checkbox"/> A01-サービスマニュアル..	2008/12/23 03:22	(3)		
<input type="checkbox"/> A02-サービスマニュアル..	2008/12/23 05:05			

1 ファイル詳細表示エリアのファイルを右クリックした後、[評価の変更] → [(★の数または「評価なし」)] をクリックします。

- メニューの [編集] → [評価の変更] → [(★の数または「評価なし」)] でも操作できます。
- ➡ ファイル詳細表示エリアの「評価」項目に設定した★の数が表示されます。
- [評価なし] を設定したときは、何も表示されません。



本機専用ファイルを中間ファイル形式で管理する

本機専用ファイルは、SV-Manager だけでファイル操作や管理ができます。ほかの PC へ本機専用ファイルを移すときや、バックアップするときには、Windows のファイル操作で移動やコピーができるファイル形式にする必要があります。このための機能が BVD エクスポート、BVD インポートです。BVD エクスポートでは、拡張子が bvd の BVD ファイルに書き出します。

SV-70 の内蔵フラッシュメモリ内のデータを、メモリカードへ移動する場合もこの機能を使用します。

BVD ファイルは、Windows のファイル操作のみを目的としているため中間ファイル形式と呼んでいます。SV-Manager 以外のアプリケーションソフトでコンテンツ内容を開覧することはできません。

BVD エクスポートで作成した BVD ファイルは、BVD インポートで本機専用ファイルに復元できます。

中間ファイル形式でデータを書き出す

1 SV-Manager でファイルまたはフォルダを選択します。

- 複数の本機専用ファイル、または 1 つのフォルダを選択できます。
- トップフォルダ、ライブラリも選択できます。

2 Windows のデスクトップまたはフォルダへドラッグアンドドロップします。

- メニューの [ファイル] → [BVD エクスポート] でも操作できます。このときは、【BVD エクスポート】ダイアログが表示されるので、BVD エクスポート先を選択して [OK] をクリックします。

➔【BVD エクスポート中】ダイアログが表示されます。

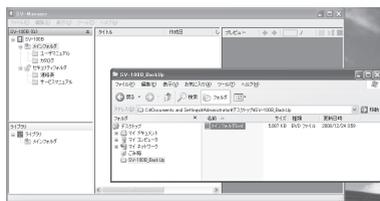
- 中止するには [キャンセル] をクリックします。



- ドラッグアンドドロップでの BVD エクスポートは、BVD エクスポートを中止することはできません。
- 閉じているセキュリティフォルダの本機専用ファイルは BVD エクスポートできません。空のセキュリティフォルダを含んだ BVD ファイルを作成します。

➔ 選択したファイルまたはフォルダの BVD ファイル  が作成されます。

- 複数の本機専用ファイルを選択すると、複数の BVD ファイルが作成されます。
- フォルダを選択すると、フォルダ以下の階層構造を保ったまま圧縮され、1 つの BVD ファイルが選択したフォルダ名で作成されます。



- BVD エクスポート先にすでに同名のファイルがあるときは、【ファイルの上書きの確認】ダイアログが表示されます。
- 長い名称の本機専用ファイルを BVD エクスポートすると、20 文字までの名称に短縮されます。
- Windows のファイル名として使用できない文字が本機専用ファイル名、フォルダ名に含まれていた場合は、その文字が削除されて短縮したファイル名になります。すべての文字が削除された場合は、「newfile.bvd」の BVD ファイル名になります。



- コンテンツの元ファイルの拡張子 (.pdf, .xls など) が付いている本機専用ファイルをBVDエクスポートした場合、ファイル名の末尾に .pdf, .xls などが付いたBVDファイルが作成されます。エクスプローラの【フォルダオプション】ダイアログの「表示」タブで「登録されている拡張子は表示しない」のチェックマークを外すと、正しい拡張子BVDを確認できます。
- Windows VistaおよびWindows 7 の場合は、スタートメニューの「コントロールパネル」→「デスクトップのカスタマイズ」→「フォルダオプション」をクリックし、【フォルダオプション】ダイアログの「表示」タブで「登録されている拡張子は表示しない」のチェックマークを外してください。



閉じているセキュリティフォルダにドロップすると、【暗証番号認証】ダイアログが表示されます。「セキュリティフォルダを開く／閉じる」(P. 24) をご参照ください。

➔【BVD インポート中】ダイアログが表示されます。

- 中止するには「キャンセル」をクリックします。



- 「キャンセル」をクリックすると、表示されている BVD ファイルの BVD インポートを中止します。複数のBVDファイルを選択した場合には、それ以降の BVD ファイルの BVD インポートも中止されます。
- BVDインポート中にフォルダ階層が 16 階層より深くなったときは、【フォルダ階層制限エラー】ダイアログが表示され、それ以降の BVD インポートが中止されます

中間ファイル形式のデータを読み込む

BVD インポートは、ドラッグアンドドロップによる操作とメニューからの操作で、操作が異なります。

■ドラッグアンドドロップで BVD インポートするには

1 Windows 上のBVDファイルを選択します。

- 複数のBVDファイルを選択してBVDインポートできます。

2 SV-Manager の階層表示エリアのフォルダまたはファイル詳細エリアにドラッグアンドドロップします。

- ドロップできる場所のときは、ポインタがからに変わります。ドロップできない場所のときは、に変わります。

➔BVD インポートされた本機専用ファイルが選択したフォルダに表示されます。

- BVD インポート中にキャンセルされた BVD ファイルは、途中までのページの本機専用ファイルが作成されます。
- 複数の本機専用ファイルが含まれた BVD ファイルが、BVD インポート中にキャンセルされた場合は、キャンセル前にBVDインポート終了した本機専用ファイルと、BVD インポート中にキャンセルされた本機専用ファイルが作成されます。
- ファイル詳細表示エリアにドロップすると、階層表示エリアで選択中のフォルダに本機専用ファイルが作成されます。

■メニューで BVD インポートするには

1 BVD インポート先のフォルダを階層表示エリアで選択します。

- セキュリティフォルダに BVD インポートするには、あらかじめ開いておきます。

2 メニューの [ファイル] → [BVD インポート] をクリックします。

- ➔ [BVD インポート] ダイアログが表示されます。

3 BVD ファイルを選択し [開く] をクリックします。

- 複数の BVD ファイルを選択してインポートできます。
- ➔ [BVD インポート中] ダイアログが表示されます。
- 中止するには [キャンセル] をクリックします。



メモ

- [キャンセル] をクリックすると、表示されている BVD ファイルの BVD インポートを中止します。複数の BVD ファイルを選択した場合には、それ以降の BVD ファイルの BVD インポートも中止されます。
- BVD インポート中にフォルダ階層が 16 階層より深くなったときは、【フォルダ階層制限エラー】ダイアログが表示され、それ以降の BVD インポートが中止されます。

➔ インポートされた本機専用ファイルが選択したフォルダに表示されます。

- BVD インポート中にキャンセルされた BVD ファイルは、途中までのページの本機専用ファイルが作成されます。
- 複数の本機専用ファイルが含まれた BVD ファイルが、インポート中にキャンセルされた場合は、キャンセル前にインポート終了した本機専用ファイルと、インポート中にキャンセルされた本機専用ファイルが作成されます。

内蔵フラッシュメモリのデータをメモリカードへ移動するには (SV-70 のみ)

SV-70 の内蔵フラッシュメモリへは、本機にメモリカードを装着するとアクセスできなくなります。

内蔵フラッシュメモリのデータを閲覧するには、メモリカードを取り外すか、メモリカードにデータを移動してください。データの移動方法は次のように行います。

1 メモリカードが装着されていない状態で、付属の USB ケーブルで本機と PC を接続します。

- 「本機を PC に接続する」(☞ P. 18) をご参照ください。

2 SV-Manager で内蔵フラッシュメモリ内のファイルまたはフォルダを選択し、Windows のデスクトップへ BVD エクスポートします。

- 「中間ファイル形式でデータを書き出す」(☞ P. 50) をご参照ください。

3 本機を PC から取り外します。

- 「本機を PC から取り外す」(☞ P. 18) をご参照ください。

4 本機にメモリカードを装着します。

- 「SV-70/100B ユーザーズガイド(本体編)」をご参照ください。

5 再び付属の USB ケーブルで本機と PC を接続します。

6 Windows 上の BVD ファイル (アイコン) を選択し、本機に BVD インポートします。

- 「中間ファイル形式のデータを読み込む」(☞ P. 51) をご参照ください。

SV-Manager の操作環境を変更するには	54
設定操作は	54
全般について設定する	54
フレーム分割	54
SV-Manager 非起動時のドキュメント登録	54
起動時の登録ヘルプ	54
ダイアログについて設定する	54
登録	55
フォルダ／ドキュメント／ページの削除	55
180 度回転して保存	55
ライブラリについて設定する	55
保存先	55
暗証番号無効状態になったときは	56
本機の暗証番号無効状態を解除するには	56
SV-Manager の暗証番号無効状態を解除するには	56
本機と SV-Manager の両方で暗証番号無効状態になったときは	56
破損ファイルを復旧するには	57
ブラザーソリューションセンターを開くには	58
SV-Manager をバージョンアップするには	59
SV-Manager のバージョン情報を確認する	59
プリンタードライバーのバージョン情報を確認する	59
バージョンアップする	59
SV-Manager をアンインストールするには	60
こんなメッセージが表示されたら	61
おかしいなと思ったときは	63

SV-Manager の操作環境を変更するには

【設定】ダイアログでは、画面の表示スタイル変更や、誤操作防止のための確認ダイアログの表示を設定できます。

「全般」、「ダイアログ」、「ライブラリ」タブがあります。

■ 設定操作は

1 メニューから【ツール】→【設定】をクリックします。

➔【設定】ダイアログが表示されます。

2 タブを切り替えて、各項目を設定します。

- 「全般」「ダイアログ」「ライブラリ」タブを切り替えて設定します。「全般」について設定する」(☞ P. 54)、「ダイアログについて設定する」(☞ P. 54)、「ライブラリについて設定する」(☞ P. 55) をご参照ください。

3 【OK】をクリックします。

■ 全般について設定する



■ フレーム分割

○ 縦割り型 / 横割り型

- 【SV-Manager】画面のエリア表示の配置を選択します。「画面の表示形式について」(☞ P. 13) をご参照ください。

■ SV-Manager 非起動時のドキュメント登録

○ SV-Manager を起動する

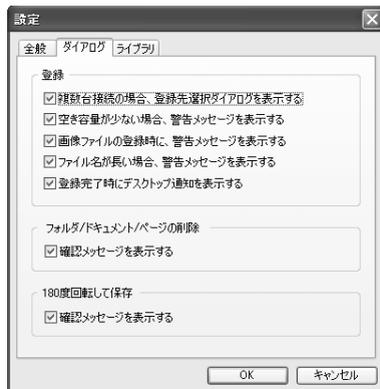
- チェックを付けると、SV-Manager が起動していないときに、SV-Manager のショートカットアイコンにコンテンツの元ファイルをドラッグアンドドロップすると、SV-Manager が起動します。「SV-Manager が起動していない場合のドラッグアンドドロップ」(☞ P. 30) をご参照ください。

■ 起動時の登録ヘルプ

○ 起動時に登録ヘルプを表示する

- チェックを付けると、SV-Manager 起動時に【ドキュメントファイルの登録方法】ダイアログを表示します。「SV-Manager を起動する / 終了する」(☞ P. 11) をご参照ください。

■ ダイアログについて設定する



■ 登録

○ 複数台接続の場合、登録先選択ダイアログを表示する

- チェックを付けると、複数台の本機が接続されている場合、本機専用ファイル作成時に【登録先選択】ダイアログを表示します。登録先本機を選択できます。
- チェックを外すと、複数台の本機が接続されている場合、階層表示エリアで最上段に表示される本機が自動的に登録先として選択されます。

○ 空き容量が少ない場合、警告メッセージを表示する

- チェックを付けると、本機専用ファイルの作成、コピー、移動時に、登録先メモリの空き容量が全体容量の10%以下となったとき、【空き容量警告】ダイアログを表示します。

○ 画像ファイルの登録時に、警告メッセージを表示する

- チェックを付けると、本機専用ファイルのドラッグアンドドロップによる作成時、コンテンツの元ファイルがWindows標準の画像ビューワに関連づけられている画像ファイルの場合、自動的に登録先フォルダがメインフォルダになる場合があるため、【画像ファイル登録警告】ダイアログを表示します。

○ ファイル名が長い場合、警告メッセージを表示する

- チェックを付けると、本機専用ファイルのドラッグアンドドロップによる作成時、コンテンツの元ファイルのファイル名が半角58文字、全角29文字以上の場合、自動的に登録先フォルダがメインフォルダになる場合があるため、【ファイル名長警告】ダイアログを表示します。

○ 登録完了時にデスクトップ通知を表示する

- チェックを付けると、本機専用ファイル作成完了時、Windows デスクトップ右下に「(本機トップフォルダ名またはライブラ

リ)に登録しました。」のメッセージを表示します。

■ フォルダ／ドキュメント／ページの削除

○ 確認メッセージを表示する

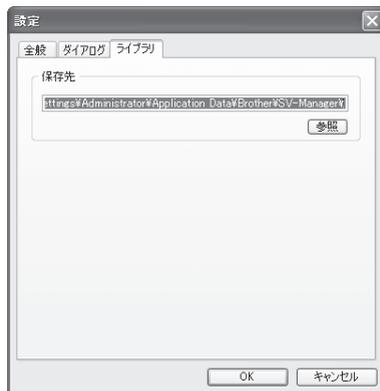
- チェックを付けると、[削除]をクリックしたとき、誤操作防止のための確認ダイアログ（【フォルダ削除】／【ドキュメント削除】／【ページ削除】のダイアログ）を表示します。

■ 180度回転して保存

○ 確認メッセージを表示する

- チェックを付けると、「180度回転して保存」をクリックしたとき、誤操作防止のための【180度回転して保存】の確認ダイアログを表示します。

■ ライブラリについて設定する



■ 保存先

○ 保存先ボックス

- ライブラリの保存先フォルダを設定します。[参照]をクリックするとフォルダを選択できます。



暗証番号無効状態になったときは

SV-Manager または本機でパスワードの認証に 3 回連続で失敗すると、【暗証番号認証】ダイアログが閉じ、暗証番号無効状態になります。

暗証番号無効状態は、SV-Manager と本機で個別に記録されます。どちらか片方で暗証番号無効状態になっているとき、もう片方で暗証番号無効状態を解除できます。

■ 本機の暗証番号無効状態を解除するには

1 本機と PC を付属の USB ケーブルで接続します。

- 「本機を PC に接続する」(P. 18) をご参照ください。

2 SV-Manager でセキュリティフォルダを開きます。

- 「セキュリティフォルダを開く／閉じる」(P. 24) をご参照ください。

3 本機を PC から取り外します。

- 「本機を PC から取り外す」(P. 18) をご参照ください。

4 本機の電源をオンして、セキュリティフォルダが開くことを確認します。

- 「SV-70/100B ユーザーズガイド(本体編)」をご参照ください。

■ SV-Manager の暗証番号無効状態を解除するには

1 本機を PC から取り外します。

- 「本機を PC から取り外す」(P. 18) をご参照ください。

2 電源をオンし、本機でセキュリティフォルダを選択します。

- 「SV-70/100B ユーザーズガイド(本体編)」をご参照ください。

3 本機で正しいパスワードを入力します。

4 本機と PC を付属の USB ケーブルで接続します。

- 「本機を PC に接続する」(P. 18) をご参照ください。

5 SV-Manager でセキュリティフォルダを開けることを確認します。

- 「セキュリティフォルダを開く／閉じる」(P. 24) をご参照ください。

■ 本機と SV-Manager の両方で暗証番号無効状態になったときは

本機および SV-Manager の両方で、それぞれ 3 回連続で認証に失敗すると、本機と SV-Manager が暗証番号無効状態になり、セキュリティフォルダを開けなくなります。SV-Manager による初期化が必要となります。セキュリティフォルダの本機専用ファイルは救済できません。「メモリを初期化する」(P. 19) をご参照ください。

セキュリティフォルダ以外のファイルは、トップフォルダの BVD エクスポートで救済できます。「中間ファイル形式でデータを書き出す」(P. 50) をご参照ください。

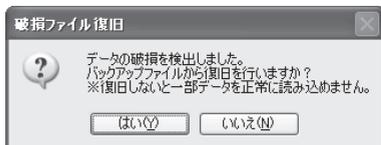


破損ファイルを復旧するには

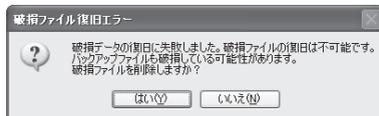
本機専用ファイルは、作成される時バックアップファイルを同時に作成しています。バックアップファイルが破損していない場合には、SV-Manager で本機専用ファイルの復元が可能となることがあります。

本機で閲覧中に「メモ리카ードを認識できません」のメッセージが表示されたときは、本機またはメモ리카ードを PC に接続して SV-Manager で復旧します。

- 1 破損ファイルが検出されると、【破損ファイル復旧】ダイアログが表示されます。



復旧が不可能な場合は、【破損ファイル復旧エラー】が表示されます。



- 2 【はい】をクリックします。

- ➡ 正常に修復できたときは、正常化された本機が階層表示エリアに表示されます。

- 【はい】をクリックすると、破損ファイルを削除し、正常なファイルのみを残します。
- 【いいえ】をクリックすると、破損ファイルをそのまま残します。プレビュー表示エリアに表示できない本機専用ファイルや、開けないフォルダが残ります。SV-Manager に接続することに、【破損ファイル復旧】ダイアログが表示されます。

🖥️ ブラザーソリューションセンターを開くには

当社サービス&サポートホームページ「ブラザーソリューションセンター」で、最新 OS への対応状況、最新ソフトウェアのダウンロード、よくある質問など皆様のお役に立てる情報を提供しております。



メモ

インターネット接続環境が必要です。

1 メニューの [ヘルプ] → [ブラザーソリューションセンター] をクリックします。

➡ ブラウザが起動して「ブラザーソリューションセンター」に接続します。





SV-Manager をバージョンアップするには

SV-Manager のバージョン情報を確認する

バージョンアップの前には、バージョン情報を確認します。

1 メニューの【ヘルプ】→【バージョン情報】をクリックします。

➡【SV-Manager のバージョン情報】ダイアログが表示されます。

2 バージョンを確認し、【OK】をクリックします。



プリンタードライバーのバージョン情報を確認する

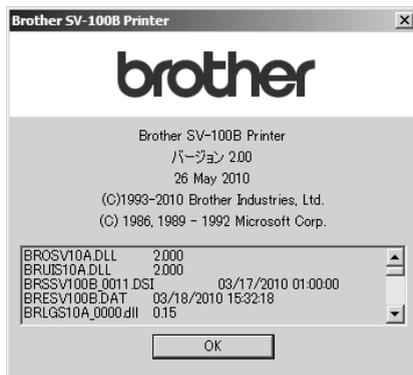
バージョンアップの前には、プリンタードライバーのバージョン情報も確認します。

1 【Brother SV-70/100B Printer のプロパティ】または【Brother SV-70/100B Printer 印刷設定】を開きます。

- 【Brother SV-70/100B Printer のプロパティ】、【Brother SV-70/100B Printer 印刷設定】ダイアログの開き方は、「プリンタードライバーの印刷設定を変更するには」(P. 32) をご参照ください。
- Wordなどのアプリケーションソフトから確認するには【Brother SV-70/100B Printer のプロパティ】ダイアログを、スタートメニューから確認するには【Brother SV-70/100B Printer 印刷設定】ダイアログを開きます。

2 「基本設定」タブの【バージョン情報】をクリックします。

➡【Brother SV-70/100B Printer】ダイアログが表示されます。



- 「ブラザーソリューションセンター」で、最新のバージョンが公開されているか確認してください。
「ブラザーソリューションセンターを開くには」(P. 58) をご参照ください。

3 確認後、【OK】をクリックしてダイアログを閉じます。

バージョンアップする

SV-Managerをバージョンアップするには、古いバージョンのSV-Managerをアンインストールしてから、新しいバージョンをインストールします。
アンインストールについては、「SV-Managerをアンインストールするには」(P. 60) をご参照ください。
再インストールは、「クイックスタートガイド」をご参照ください。

SV-Manager をアンインストールするには

SV-Manager のアンインストールは以下の手順で行います。



注意

アンインストールする前に、ライブラリのデータなど必要な本機専用ファイルは、BVD エクスポートで中間ファイル形式にして一時保管してください。

1 SV-Manager が起動しているときは終了します。

2 Windows のスタートメニューの [コントロールパネル] → [プログラムの追加と削除] をダブルクリックします。



メモ

Windows Vista または Windows 7 の場合には、[コントロールパネル] → [プログラムのアンインストール] をダブルクリックします。

➡【プログラムの追加と削除】ダイアログが表示されます。

3 「Brother SV-Manager x.x」(xx はバージョン) をクリックし、[削除] をクリックします。



メモ

Windows Vista または Windows 7 の場合には、「Brother SV-Manager x.x」(xx はバージョン) をクリックし、[アンインストール] をクリックします。

- プリンタードライバー「Brother SV-100B Printer」は、アプリケーション「Brother SV-Manager x.x」の削除と一緒に削除されます。

4 【SV-Manager アンインストール】ダイアログで [はい] をクリックします。

➡【アンインストール】ダイアログが表示されます。

5 ライブラリのデータを残す場合は [はい] を、削除してよい場合は [いいえ] をクリックし、以降 Windows のメッセージに従い操作します。

- [はい] をクリックすると、ライブラリのデータを削除しないで、SV-Manager とプリンタードライバーをアンインストールします。SV-Manager を再インストールすると、ライブラリのデータを引き続き使用できます。バージョンアップや SV-Manager に不具合が発生した場合など、SV-Manager の再インストールが必要なときは、[はい] をクリックします。



注意

[いいえ] を選択した場合、ほかのユーザーのライブラリも削除されます。



メモ

ほかのユーザーが同時にログインしている場合には、正常にアンインストールできません。



こんなメッセージが表示されたら

メッセージ	原因と対処
<p>【登録エラー】 登録に失敗しました。空き容量が足りません。</p> <p>【コピーエラー】 コピーに失敗しました。空き容量が足りません。</p> <p>【移動エラー】 移動に失敗しました。空き容量が足りません。</p>	<p>原因：</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録先のメモリの空き容量が不足しています。 <p>対処：</p> <ul style="list-style-type: none"> SV-100Bに同梱のメモ리카ードの容量は2GBです。SV-70の内蔵フラッシュメモリの容量は約100MBです。空き容量を確認してください。 大きなファイルサイズのコンテンツから本機専用ファイルを作成しようとした場合には、コンテンツの元ファイルを分割して、小さなサイズのコンテンツに変更してください。 大きなファイルサイズの本機専用ファイルをコピー／移動した場合には、本機専用ファイルを分割します。ライブラリで本機専用ファイルをコピーして2個のファイルを作成し、ページの削除により前半と後半の本機専用ファイルなどに分割して、小さなサイズのファイルに変更してください。 複数のコンテンツの元ファイルを一度に作成、複数の本機専用ファイルをコピー／移動しようとした場合には、数を減らして作成／コピー／移動してください。 メモリの不要な本機専用ファイルや、本機用以外のファイルも保存している場合には、バックアップまたは削除により、空き容量を増やしてください。
<p>【破損ファイル復旧】 データの破損を検出しました。復旧を試みます。</p>	<p>原因：</p> <ul style="list-style-type: none"> フォルダまたは本機専用ファイルが破損しています。 <p>対処：</p> <ul style="list-style-type: none"> 「破損ファイルを復旧するには」(P. 57)をご参照ください。
<p>【破損ファイル復旧エラー】 破損データの復旧に失敗しました。破損ファイルの復旧は不可能です。</p>	<p>原因：</p> <ul style="list-style-type: none"> フォルダまたは本機専用ファイルのバックアップファイルが破損しています。 <p>対処：</p> <ul style="list-style-type: none"> 「破損ファイルを復旧するには」(P. 57)をご参照ください。
<p>【初期化エラー】 初期化に失敗しました。</p>	<p>原因：</p> <ul style="list-style-type: none"> メモリに本機用でないBRVDOCフォルダがあります。 <p>対処：</p> <ul style="list-style-type: none"> 本機用でないBRVDOCフォルダを削除してください。
<p>【暗証番号無効状態】 暗証番号無効状態です。</p>	<p>原因：</p> <ul style="list-style-type: none"> SV-Managerで過去に続けて3回、パスワードの認証に失敗して、暗証番号無効状態になっています。 <p>対処：</p> <ul style="list-style-type: none"> 本機で暗証番号無効状態になっていない場合は、本機で解除してください。「暗証番号無効状態になったときは」(P. 56)をご参照ください。
<p>【読み込みエラー】 ファイルの種類がサポートされていないか、ファイルが破損している可能性があります。</p>	<p>原因：</p> <ul style="list-style-type: none"> 選択した中間ファイル形式のBVDファイルが、本機用のファイルでないか、破損しています。 <p>対処：</p> <ul style="list-style-type: none"> 選択したファイルが、本機用のBVDファイルかご確認ください。

メッセージ	原因と対処
<p>【読み込みエラー】 登録に失敗したファイルがあります。</p>	<p>原因：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 選択したコンテンツの元ファイルのアプリケーションソフトが PC にインストールされていないか、印刷の関連づけがされていません。 <p>対処：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 選択したコンテンツの元ファイルのアプリケーションソフトをインストールしてください。 • アプリケーションソフトでコンテンツの元ファイルを開き、印刷から本機専用ファイルを作成してください。
<p>【初期化エラー】 本機初期化中に予期せぬエラーが発生しました。</p>	<p>原因：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 本機初期化中に、何らかの理由でエラーが発生しました。 <p>対処：</p> <ul style="list-style-type: none"> • ほかの本機またはメモ리카ードに変えて初期化し、正常でしたらエラーの発生した本機またはメモ리카ードの異常です。 • 上記を行い、いずれの本機またはメモ리카ードで異常となるときは、SV-Manager が異常の可能性があります。再インストールしてください。
<p>【起動エラー】 SV-Manager のソフトウェア構成が破損しています。</p>	<p>原因：</p> <ul style="list-style-type: none"> • SV-Manager が異常の可能性があります。 <p>対処：</p> <ul style="list-style-type: none"> • SV-Manager を再インストールしてください。
<p>【最大ページ数警告】 10,000 ページ以降は登録できません。登録可能な最大ページ数は、9999 ページです。10,000 ページ以降の登録は、ページ指定印刷を行ってください。</p>	<p>原因：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 登録可能な最大ページ数は 9,999 ページです。 <p>対処：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 10,000 ページ以降の登録は、ページ指定印刷を行ってください。
<p>【登録エラー】 登録処理に失敗しました。SV-Manager を起動し直してから登録を再試行してください。</p>	<p>原因：</p> <ul style="list-style-type: none"> • コンテンツ登録中に何らかの理由でエラーが発生しました。 <p>対処：</p> <ul style="list-style-type: none"> • SV-Manager を起動し直してから登録を再試行してください。
<p>**に失敗しました。 このディスクもしくはディスク内のファイルは書き込み禁止になっています。(**は操作名です。)</p>	<p>原因：</p> <ul style="list-style-type: none"> • SD カードアダプタを使用している場合、メモ리카ードの書き込み禁止ノブが禁止位置になっています。 <p>対処：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 書き込み禁止ノブを禁止位置から解除してください。
<p>SV-Manager の起動に必要なアクセス権がありません。SV-Manager は、ゲストユーザでは起動できません。</p>	<p>原因：</p> <ul style="list-style-type: none"> • SV-Manager は、ゲストユーザ権限では起動できません。 <p>対処：</p> <ul style="list-style-type: none"> • Windows のログオフをしてから、標準ユーザ権限または管理者権限のアカウントで再度 Windows にログインしてください。



おかしいなと思ったときは

問題	原因と対処
<p>ドラッグアンドドロップで本機専用ファイルを作成できない</p>	<p>原因：</p> <ul style="list-style-type: none"> コンテンツの元ファイルが Word、Excel、Power Point、Adobe Reader、メモ帳の場合はドラッグアンドドロップにより本機専用ファイルを作成できますが、アプリケーションソフトによっては対応していないものがあります。 <p>対処：</p> <ul style="list-style-type: none"> アプリケーションソフトでコンテンツの元ファイルを開き、印刷メニューから作成してください。 「アプリケーションソフトの印刷画面から作成する」(P. 28) をご参照ください。
<p>ドラッグアンドドロップで本機専用ファイルを作成したときに、指定したフォルダに登録されない</p>	<p>原因：</p> <ul style="list-style-type: none"> 2byte文字がファイル名に入っているPDFファイルをドラッグアンドドロップで Adobe Reader 8 により作成する場合は、指定したフォルダに登録できません。 <p>対処：</p> <ul style="list-style-type: none"> Adobe Reader 9 にアップデートしてください。 <p>原因：</p> <ul style="list-style-type: none"> コンテンツの元ファイルが次の場合、指定したフォルダに登録できません。メインフォルダに登録されます。 <ul style="list-style-type: none"> Windows 標準の画像ビューワに関連づけられている画像ファイル ファイル名が極端に長いファイル Windows Vista または Windows 7 でのファイル名が 259byte 以上のファイル <p>対処：</p> <ul style="list-style-type: none"> アプリケーションソフトでコンテンツの元ファイルを開き、印刷メニューから本機専用ファイルを作成して、ファイルを移動する操作を行ってください。 印刷メニューから作成する方法は、「アプリケーションソフトの印刷画面から作成する」(P. 28) をご参照ください。 ファイルを移動する方法は、「ファイル／フォルダを移動する」(P. 43) をご参照ください。
<p>本機専用ファイルを作成したとき、コンテンツを思い通りに変換できない(残像が発生する)</p>	<p>原因：</p> <ul style="list-style-type: none"> プリンタードライバーの印刷設定で、階調処理を行う設定になっていると、コンテンツによっては残像が発生しやすくなる場合があります。 <p>対処：</p> <ul style="list-style-type: none"> 残像が気になるときは、【Brother SV-70/100B Printer プロパティ】または【Brother SV-70/100B Printer 印刷設定】ダイアログの【階調処理を行う】のチェックマークを外してください。「プリンタードライバーの印刷設定を変更するには」(P. 32) をご参照ください。

問題	原因と対処
<p>本機専用ファイルを作成したとき、コンテンツを思い通りに変換できない(細線がかすれる)</p>	<p>原因：</p> <ul style="list-style-type: none"> • プリンタードライバーの印刷設定で、[滑らかにする]を行う設定になっていると、細い線は切れやすくなります。 <p>対処：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 線の表現を優先するときは、【Brother SV-70/100B Printer プロパティ】または【Brother SV-70/100B Printer 印刷設定】ダイアログの「拡張機能」タブで、「印刷品質」を[カスタム設定]に設定します。[滑らかにする]が設定可能な状態になるのでチェックマークを外してください。「プリンタードライバーの印刷設定を変更するには」(P. 32)をご参照ください。
<p>本機専用ファイルを作成したとき、ファイル名が変わってしまう</p>	<p>原因：</p> <ul style="list-style-type: none"> • ファイル名に半角のカッコ("または")が含まれている Word の文書ファイルから本機専用のファイルを作成すると、ファイル名のカッコがアンダーバー"_"に変換されます。このため、ファイル名にカッコを含んだファイルとアンダーバーを含んだファイルとを一度に本機専用のファイルに変換すると、ファイルを取り違えることがあります。 <p>対処：</p> <ul style="list-style-type: none"> • Word の文書ファイル名に半角のカッコを使用しているときは、ほかの文字に変更してください。

上記以外にも、当社サービス&サポートホームページ「ブラザーソリューションセンター」で情報を提供しています。「ブラザーソリューションセンターを開くには」(P. 58)をご参照ください。

用語集	66
索引	69

本機の機能に関連する用語について説明しています。

A ~ Z

BRVDOC フォルダ

本機専用ファイルを保存する専用フォルダです。SV-Manager または本機の初期化で作成されます。隠しフォルダの属性になっています。

BVD インポート

中間ファイル形式の BVD ファイルを本機専用ファイルに戻し、本機またはライブラリに登録する機能です。

BVD エクスポート

本機専用ファイルを中間ファイル形式の BVD ファイルに書き出す機能です。

BVD ファイル

BVD インポート、BVD エクスポートで読み込みや書き出しの対象となる中間ファイル形式のファイルです。

SV-Manager

コンテンツの元ファイルから本機専用ファイルを作成し、管理する Windows アプリケーションソフトです。

あ行

アプリケーションソフト

Word や Excel、Adobe Reader など、オペレーティングシステム（基本ソフト、本機の場合は Windows XP または Vista）上で動作し、PC の利用者が特定の作業をするためのソフトウェアです。

SV-Manager もアプリケーションソフトの 1 つですが、本書では SV-Manager 以外を指してアプリケーションソフトと呼んでいません。

暗証番号無効状態

セキュリティフォルダのファイルが開けなくなった状態です。

SV-Manager または本機でパスワードの認証に 3 回連続で失敗すると、暗証番号無効状態になります。

暗証番号無効状態は、SV-Manager と本機で個別に記録されます。どちらか片方が暗証番号無効状態になっているとき、もう片方で暗証番号無効状態を解除できます。

閲覧日

本機専用ファイルを、本機で最後に閲覧した日付です。

か行

階調処理

本機専用ファイルの画像データを作成するときの誤差拡散処理です。誤差拡散処理は、画像データの各ドットとその周辺のドットとの間で計算処理を行い、イメージデータの階調をなめらかにします。

拡大用画像

本機専用ファイル作成時に、解像度を 145% 高めて作成されるコンテンツ表示用の画像です。標準表示用画像とは別の画像として作成されます。

本機で拡大表示したときに表示されます。

カットアンドペースト

カット（切り取り）とペースト（貼り付け）の一連の機能で、ファイルやフォルダを移動する操作です。

筐体

装置の基板などを外部から守るとともに、利用者を内部の機器から隔離して安全を保つための箱を指します。

コンテンツ

本機専用ファイルや、元となるアプリケーションソフトのデータのページ内容です。

さ行

サムネイル

一覧性を高めるため、標準サイズの画像を小さいサイズに縮小して作成した画像です。SV-Manager では 25% に縮小した画像をサムネイルとしています。なお、語源は英語のサム（親指：thumb）とネイル（爪：nail）からきています。

初期化

メモリ内の本機専用ファイルをすべて削除し、新しいトップフォルダと、その中に空のメインフォルダ、セキュリティフォルダを作成する処理です。SV-Manager での初期化では、Windows のフォーマットと異なり、本機専用ファイル以外のファイルは削除されません。

なお本機で行うフォーマットでは、Windows のフォーマットと同様に、本機専用ファイル以外のファイルもすべて削除された後、SV-Manager と同じ初期化が行われます。

しるし

紙の書類に付ける付せんに相当するページに付けるマークです。

セキュリティフォルダ

初期化でメモリカードまたは内蔵フラッシュメモリ（SV-70 のみ）に作成される特別なフォルダです。パスワードを設定することで、本機専用ファイルの登録時にファイルを暗号化して保護します。

セキュリティフォルダを開くには、パスワードによる認証が必要です。

た行

ダイアログ

簡易的な操作のための画面です。[はい] / [いいえ] などの選択メッセージを表示する画面や、プリント設定の画面があります。ウィンドウと似ていますが、ダイアログにはタイトルバーの下に「ファイル」「編集」などのメニューはありません。

中間ファイル形式

BVD エクスポートで書き出した BVD ファイルです。Windows のファイル操作で移動やコピーができます。BVD インポートで本機専用ファイルに戻せます。

トップフォルダ

メモリカードまたは内蔵フラッシュメモリ（SV-70 のみ）を SV-Manager で初期化すると作成されるルートディレクトリに設定された本機の最上位フォルダ。

ドラッグアンドドロップ

画面上の対象をマウスの左ボタンで選択してつかみ、そのまま左ボタンを押しながら移動して、目的の位置で左ボタンを離して対象をその位置におくことです。

な行

内蔵フラッシュメモリ

SV-70 に内蔵された不揮発性の半導体メモリです。データの書き換えが可能で、電源を切ってもデータは消えません。

は行

パスワード

セキュリティフォルダに設定する4桁の数字の暗証番号です。

ビットマップ

画像を点の集まりで表現する形式の1つです。ラスターデータ形式とも呼びます。JPEG、TIFF、GIF、BMPなどがあります。狭い意味では拡張子bmpのWindowsビットマップを指します。

ビットマップデータ形式に対して、画像を曲線や直線の数式で表現するベクトルデータ形式があります。TrueType フォントやEPSなどがあります。

評価

コンテンツに5段階の★マーク（または評価なし）を付ける機能です。

プリンタードライバー

一般的には周辺機器（デバイス）の制御を行うデバイスドライバの一種で、特にプリンターの制御を行うソフトウェアをプリンタードライバーと呼びます。SV-Managerのプリンタードライバーは、PC内で本機専用仮想プリンターを動作させてビットマップ形式の本機専用ファイルを作成します。

プルダウンメニュー

メニュー項目にカーソルをポイントするかクリックすると、メニュー項目に関連するサブメニューが引き出されて垂れ下がるように表示されます。このメニューのことをプルダウンメニューと呼びます。

本機専用ファイル

本機で閲覧可能なデータファイルです。コンテンツをビットマップと同様のラスターデータ形式に変換した画像データと管理ファイルで構成されています。SV-Managerでコンテンツの元ファイルから作成します。

ま行

メインフォルダ

本機のトップフォルダのすぐ下にあるフォルダです。パスワードなしで閲覧できる本機専用ファイルは、このフォルダに登録します。SV-Managerで名称を変更できます。

ら行

ライブラリ

SV-ManagerがインストールされたPCのハードディスクに作成されるフォルダです。

数字

180 度回転して保存 55

B

【Brother SV-70/100B Printer 印刷設定】
ダイアログ 32, 38

【Brother SV-70/100B Printer のプロパ
ティ】ダイアログ 32, 38

BVD インポート 5, 50, 51, 52

BVD エクスポート 5, 50

BVD ファイル 50

E

Excel 39

P

PDF 39

S

SV-Manager 4

SV-Manager 非起動時 54

W

Word 39

あ

空き容量 55

アプリケーションソフト 27, 28

アンインストール 60

【暗証番号設定】ダイアログ 23

【暗証番号認証】ダイアログ 24

【暗証番号変更】ダイアログ 25

暗証番号無効状態 24, 56

解除 56

い

位置 36

移動 44

印刷画面 27, 28

印刷設定 32

【印刷】ダイアログ 38

印刷の向き 34

印刷品質 35

インフォメーションエリア 33

う

ウィンドウの幅に合わせる 16

え

閲覧日 14

エリアのサイズ 12

か

階層表示エリア 12, 13

階調処理 35

拡大 16

拡大・縮小 37

拡大用画像 35

拡大率 34

拡張機能 35

カスタム設定 35

カットアンドペースト 44

画面構成 12

画面の表示形式 13

画面表示 14

き

起動 11, 54

基本設定 34

きれい 35

け	
警告メッセージ	55
現在ページ番号	16

こ	
高速	35
高速に登録する	37
項目の並び順	15
項目の表示幅	15
項目を非表示	15
コピー	45
コンテンツ	27
表示	40

さ	
作成日	14
サムネイル	16
残量	21

し	
終了	11
ショートカットアイコン	11, 27, 30
初期化	19, 20
しるし	14
一括削除	47
管理	47
削除	47
付ける	47
利用	48

す	
透かし印刷	36
透かし印刷設定	36
透かし印刷編集	36
透かし設定	36
削除	36
設定	36
追加	36
スタイル	37

せ	
セキュリティフォルダ	13, 23, 28
閉じる	24
開く	24
接続	18
設定	55
全般	54

そ	
操作環境	54
総ページ数	16

た	
ダイアログ	54
タイトル	37, 14
大量のコンテンツ	6
縦割り型	13, 54

ち	
中間ファイル形式	50, 51

つ	
次のページへ移動	16

て	
【データの登録】画面	27, 31
データを書き出す	50
データを読み込む	51
デスクトップ通知	55

と	ふ
透過印刷 36	ファイルの一覧 40
登録完了 55	ファイル名/フォルダ名を変更 43
【登録先選択】ダイアログ 29	ファイル/フォルダを移動 43
登録先選択ダイアログ 55	ファイル/フォルダをコピー 45
登録ヘルプ 54	ファイル/フォルダを削除する 46
【ドキュメントファイルの登録方法】	ファイル詳細表示エリア 12, 14
ダイアログ 54, 11	フォーマット 19
トップフォルダ 13	フォルダ 13
ドラッグアンドドロップ	作成 43
..... 27, 29, 30, 44, 45, 50, 51	開く 40
取り外し 13, 18	フォルダ/ファイル/ページの削除 55
	複数台接続 55
な	袋文字 36
内蔵フラッシュメモリ	付せん 47
..... 19, 21, 27, 40, 52	ブラザーソリューションセンター 58
滑らかにする 35	プリンタードライバ 27, 32
	フレーム分割 54
の	プレビュー表示エリア 12, 16
濃度調整 36	【プロパティ】ダイアログ 21
	へ
は	ページの表示サイズ 40
バージョンアップ 59	ページを 180 度回転 41, 42
バージョン情報 59	ページをめくる 40
パスワード 23	ページを回転 40
変更 25	ページを削除 41
破損ファイルを復旧 57	ページを表示 40
バックアップ 5, 50	ページ全体 16
バックアップファイル 57	ページ番号を指定 41
	変更 54
ひ	ほ
ビットマップ 37	保存先 55
評価 14	本機接続状態 14
評価情報 49	本機専用ファイル 50
変更 49	作成 27
標準 16	
標準表示用画像 34	

ま

前のページへ移動 16

め

メインフォルダ 13

メニュー 45

メモリ 21

 使用量 21

メモリカード 20, 21

 詳細使用量 21

も

文字 37

元ファイル 27, 39

よ

用紙サイズ 34

横割り型 13, 54

ら

ライブラリ 5, 13, 55

brother